

業 務 報 告 書

～平成27年度実績～



平成28年9月

島根県浜田保健所

(表紙裏)

沿 革

浜田保健所の沿革

- 昭和19年12月：浜田市大字黒川1401番地に木造二階建（延506.6㎡）の本庁舎が開設された。（管轄：浜田市・那賀郡（人口116,901人）、職員14名）
- 昭和22年：保健所法改正に伴う保健所機構の整備により職員が6名増員となる。
- 昭和23年 4月：細菌検査浜田支所を統合。
- 昭和24年12月：島根県立川下病院を統合。
- 昭和26年 4月：A級保健所となり、8月には庁舎を増築（213.7㎡）、翌年2月には、総務課、保健予防課、衛生課、普及課の4課17係が設けられた。
- 昭和36年 8月：機構改革により、総務課、保健予防課、衛生課の3課6係となる。
- 昭和41年 3月：浜田合同庁舎が竣工。1階、2階が保健所となる。
- 昭和53年 4月：機構改革により、II型保健所となり、総務課、保健予防課、環境衛生課、検査室の3課1室5係となる。
- 昭和58年 8月：浜田合同庁舎隣接地で建設を進めていた新庁舎が竣工した。

浜田健康福祉センターの発足

- 平成 6年 4月：住民に対して保健・医療・福祉の一体的サービスを図る観点から、那賀福祉事務所と浜田保健所が統合して、浜田健康福祉センターが発足した。
- 平成 8年 6月：島根県大気環境中央監視局が設置され、運用を開始した。
- 平成10年 4月：地域保健法の施行及び介護保険法の導入を視野に入れ、総務企画部、保健福祉部、環境衛生部の3部体制となる。
- 平成11年 4月：保健福祉部の再編成により、保健福祉課に係制を導入して本格稼働となる。
- 平成16年 4月：フラット化、グループ化により、課が廃止され、グループ体制になる。

地方機関の再編

- 平成17年 4月：機構改革により、浜田健康福祉センターが廃止され、浜田保健所と西部福祉事務所に再編される。浜田保健所は、総務保健部と環境衛生部の2部7グループ体制となる。検査グループは、県西部3保健所（浜田、県央及び益田）管内の感染症・食品衛生・環境衛生及び環境保全対策に係る検査の担当となる。
- 平成18年 4月：機構改革により、2部、6グループ・1担当体制となる。
- 平成25年 4月：組織改正により、2部、6課・1担当体制となる。

目 次

1 管内の概況	1
2 組織及び業務	2
総務担当	4
健康増進課	
1 健康長寿しまねの推進	5
2 生活習慣病予防対策	8
3 働き盛り世代の健康づくりの推進	11
4 母子保健対策	12
5 歯科保健対策	18
6 栄養改善対策	20
7 地域保健体制の整備	21
8 精神保健福祉対策	22
医事・難病支援課	
1 医療対策	29
2 難病対策	30
3 結核対策	33
4 エイズ対策	34
5 原爆被爆者対策	35
6 緩和ケア	35
7 骨髄バンク	35
衛生指導課・食品衛生機動監視課	
1 薬事対策	37
2 薬物乱用防止対策	37
3 献血の推進	38
4 食品衛生対策	38
5 感染症対策	42
6 動物管理対策	43
7 環境衛生対策	44
環境保全課	
1 大気汚染防止対策	46
2 廃棄物処理対策	50
3 浄化槽対策	52
4 建築物衛生確保、衛生害虫対策	53

検査課

1 感染症に関する検査	54
2 食品衛生関係等の検査	54
3 環境衛生関係検査	56

資料編

浜田圏域の高齢化率と推計人口	57
浜田圏域の人口動態	58

1 管内の概況

(1) 市町村合併

平成の大合併の進展に伴い、当管内でも浜田市と那賀郡の1市4町村、江津市と邑智郡桜江町の枠組みで合併に向けての協議が進められた。江津市と桜江町は、平成16年10月1日に合併を行い、新「江津市」面積268.51km²、人口27,821人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。また、浜田市と那賀郡4町村は平成17年10月1日に合併し、新「浜田市」面積689.44km²、人口63,128人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。

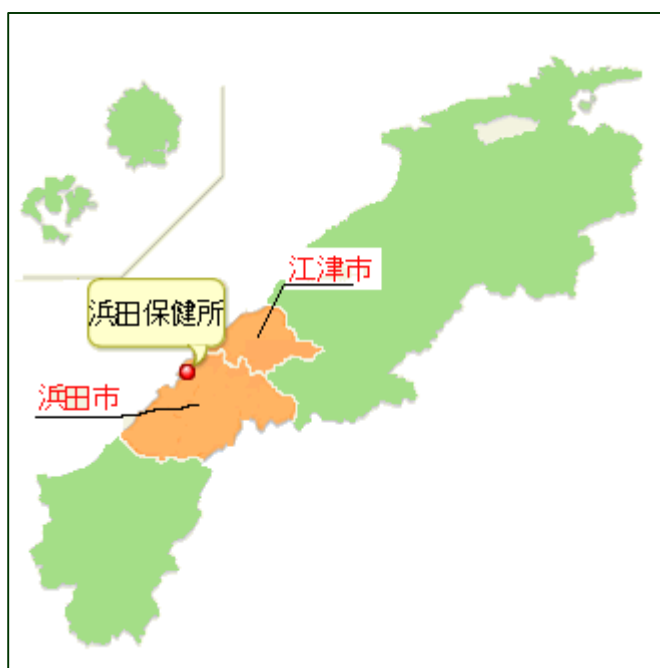
(2) 行政区域、地理的条件、交通事情

当所は、島根県西部に位置する浜田市に所在しており、平成24年度末の行政区域としては、浜田市、江津市の2市を管内としている。

管内の地理的条件は、日本海に面した海岸部を有するものの、山地が海岸線まで迫っており、総じて平野部は狭隘である。面積は957.95km²で、県全体の14.2%を占めているが、大部分が中山間地域に位置する林野となっている。

交通事情は、JR山陰線と国道9号線が海岸線に沿って東西に走り、また、在来の国道186号線が広島方面へ連絡している。さらに、平成3年に全線開通した中国横断自動車道が浜田市と広島市とを1時間半で結び、さらに平成15年には江津道路も開通し京阪神、九州方面との連絡時間も大幅に短縮された。

しかし、地域全体としてはバス路線が主要な公共交通機関であり、過疎地域で運行回数も少ないため、自家用車の使用に頼らざるを得ない状況である。



(3) 人口と高齢化の推移

管内の人口は、平成27年10月1日現在で82,629人（推計人口）で、県全体の11.9%を占めている。国勢調査に基づく管内の人口推移では、昭和30年をピークとしてその後の減少傾向は明らかで、平成7年以降、10万人を割り込んでいる。

また、稼働年齢層の県外転出と出生率の低下に伴って人口の高齢化が進んでおり、平成27年10月1日現在で管内の高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）は、34.5%、後期高齢者率（75歳以上の高齢者が人口に占める割合）は19.1%となっており、県平均のそれぞれ33.7%、18.1%を大きく上回っている。

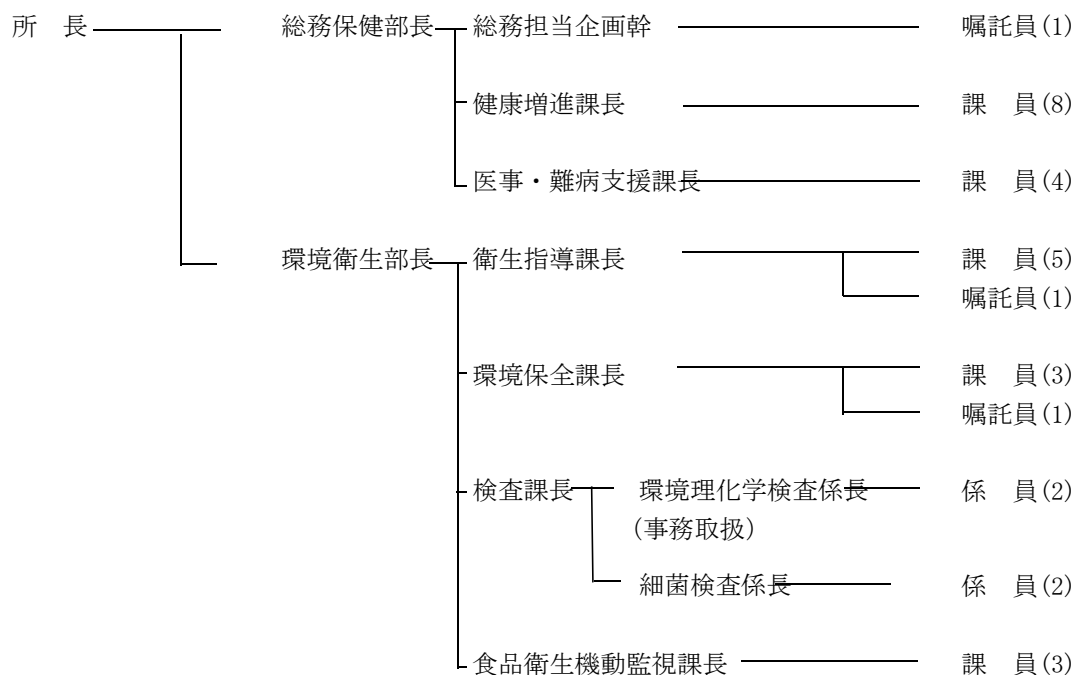
2 組織及び業務

(1) 職種別職員数

(平成28年3月31日現在)

	所長	総務保健部	環境衛生部	合計
行政職		4	13	17
事務		4	5	9
技術			8	8
医療職	1	12	8	21
医師	1			1
保健師		8		8
管理栄養士		1		1
診療放射線技師		1		1
歯科衛生士		1		1
臨床検査技師		1	3	4
獣医師			4	4
薬剤師			1	1
技能労務職				
予防技術員				
嘱託員		1	2	3
一般事務		1		1
狂犬病予防対策業務			1	1
廃棄物適正処理指導業務			1	1
合計	1	17	23	41

(2) 組織図



(3) 業務の概要

担当部・課名		業 務 内 容
総務保健部	総務担当	◇人事・服務 ◇庶務事務 ◇福利厚生 ◇統計調査（地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例、人口動態調査）
	健康増進課	◇健康長寿しまね推進事業 ◇精神保健福祉対策 ◇成人・老人保健対策 ◇健康づくり対策 ◇生活習慣病予防対策 ◇母子・乳幼児保健対策 ◇栄養改善対策 ◇歯科保健対策◇地域保健専門職員研修 ◇学生実習（保健師・栄養士）
	医事・難病支援課	◇医療提供体制の整備 ◇保健医療計画 ◇医師等医療従事者確保◇臓器移植等 ◇特定疾患対策 ◇感染症（結核）対策◇エイズ対策 ◇原爆被爆者対策 ◇難病患者支援対策 ◇ハンセン病対策 ◇緩和ケア対策 ◇医療安全相談
環境衛生部	衛生指導課	◇薬局等医薬品販売業の許可、指導 ◇毒物・劇物・麻薬・覚せい剤 ◇旅館・公衆浴場・理容所・美容所・クリーニング所等生活衛生関係の営業許可 ◇温泉 ◇献血 ◇感染症予防対策 ◇食中毒の防止対策 ◇食品衛生関係の営業許可、指導 ◇水道・飲料水 ◇狂犬病予防 ◇動物愛護
	環境保全課	◇環境保全の普及啓発等 ◇地域環境保全計画の企画推進 ◇大気汚染防止対策 ◇フロン対策 ◇ダイオキシン類対策 ◇土壌汚染対策 ◇浄化槽対策 ◇水質汚濁防止対策 ◇廃棄物の減量化・適正処理対策 ◇建物の衛生確保対策 ◇ネズミ・衛生害虫相談 ◇公害等苦情処理 ◇大気環境常時監視テレメータシステムの管理運営
	検査課	◇公害検査 ◇環境衛生検査 ◇食品等の試験検査 ◇食中毒・感染症検査 ◇臨床検査
	食品衛生機動監視課	◇食品関係施設の広域的監視・指導

《総務担当》

1 総務事務

職員の人事・給与・福利厚生事務及び会計事務を行った。

2 防災及び災害対策関係業務

所内における防災体制の確立や緊急連絡網の整備並びに防火訓練を実施した。

3 安全衛生委員会の開催

職員の危険又は健康障害の防止及び健康の保持増進に関する事項を調査審議した。

開 催 日	開 催 場 所
平成27年10月16日	浜田合庁別館 3F 多目的室

4 職員研修

情報セキュリティ及び人権に関する職員研修を実施した。

5 統計調査

- 衛生行政報告例（年度報・隔年報）
- 地域保健・健康増進事業報告（年度報）
- 人口動態調査（毎月）

6 講師派遣

浜田医療センター附属看護学校、浜田准看護学校へ派遣した。

《健康増進課》

1 健康長寿しまねの推進

島根県では国に先立ち、平成11年8月「健康増進計画」（健康長寿しまね）を策定し、健康長寿しまね推進会議を中心に県民運動として健康づくりに取り組んできた。この取り組みの一環として、浜田圏域においても平成12年度に浜田圏域健康長寿しまね推進会議を設置し「浜田圏域健康長寿しまね推進計画」（平成13年度策定）をもとに運動を展開してきた。

中間年となる平成17年度には、中間評価を行い圏域の課題を整理し、活動テーマを「脳卒中死亡率の減少」と「壮年期の自殺予防」として圏域計画の推進を図ってきた。平成19年度の「島根県健康増進計画」（健康長寿しまね）の見直しに伴い、平成20年度には「浜田圏域健康長寿しまね推進計画～目標値改訂版～」を作成し、具体的な目標について再度見直しを行ったとともに、平成22年度までの計画期間をスライドさせ、最終年度を平成24年度とした。

この間、「禁煙推進」「歯と食」「運動・健康づくり」「心の健康づくり」の4つの部会を中心に健康づくりに取り組みを進めてきたが、平成22年度からは「運動」と「心」を統合させ「運動・心の健康づくり」とし、3部会として健康づくり、生きがいづくり、要介護状態の予防を三本柱に「健康長寿しまね」県民運動をより一層推進している。

平成25年3月には「第2次浜田圏域健康長寿しまね推進計画」を策定し、「健康寿命を延ばす」を目標とした活動がスタートした。第2次計画では、1次計画の考え方を継承し、さらに「未来へつながる健康で幸福（しあわせ）な石見のまちづくり」を圏域の基本理念として掲げ、健康づくりのための活動を進めている。

また、平成22年度に統合した「運動・心の健康づくり部会」を25年度より「運動・健康づくり部会」と「心の健康づくり部会」に分割し、4つの部会でテーマに沿った活動を継続している。構成団体数も29団体から37団体に増え、より一層活発な活動を行っている。

（1）圏域健康長寿しまね推進会議事業の実施状況

平成27年度浜田圏域健康長寿しまね推進事業実績

区分	事業名	事業内容
① 圏域 会議 の 運 営	圏域 健康長 寿しま ね推 進会議 の運 営	<p>1. 圏域健康長寿しまね推進会議(構成団体数 37)</p> <p>(1)総会(年2回)</p> <p>①7月2日 各構成団体からの前年度活動報告、各部会の前年度事業報告及び今年度事業計画了承、全県会議報告、各部会からのミニ講座～体験してみよう！～(心の健康づくり部会より) ストレス対策の話とチェックシートを利用したセルフチェック。</p> <p>②12月17日 健康づくりグループ及び7024よい歯のコンクール表彰式、表彰者の紹介及び活動交流 ①歯にいいおやつ(大豆かりんとう)の試食会 ②表彰者からの活動報告 ③ロコモ予防研修会(講話及び運動)、各部会の事業報告(中間報告)</p> <p>(2)部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙推進部会 (①7月2日 ②3月19日) ・歯と食の部会 (①7月2日 ②3月3日) ・運動・健康づくり部会 (①7月2日 ②2月12日) ・心の健康づくり部会 (①7月2日 ②1月26日) <p>2. 健康づくりグループ表彰 圏域表彰:4グループ 対象:健康づくりに取り組んでいる地域または職場内のグループを表彰する。 表彰式:12月17日開催 (県健康づくりグループの伝達表彰及び7024よい歯のコンクールの合同表彰式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動交流の場として、各受賞者及び各受賞グループが日々の活動等を発表 <p>3. 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田保健所ホームページでの健康情報等発信 ・まめなたよりの発行(年2回) ・浜田市健康福祉フェスティバル、ごうつ健康まつりに参加し、推進会議の活動について情報発信 ・石見ケーブルテレビジョンで総会の様子(表彰式、ロコモ予防研修ほか)を番組放送。

区分	事業名	事業内容									
② 圏域 計画 推進 事業	1. 禁煙 推進部会	<p>1 たばこに関する正しい知識の普及啓発</p> <p>(1)街頭キャンペーン(6月2日) 浜田水産高校、江津工業高校におけるチラシとグッズ配布</p> <p>(2)パネル展示(5月29日～6月8日) 江津グリーンモール、ゆうひパーク、浜田駅南北連絡通路、島根県立大学浜田キャンパスにおけるたばこに関する展示</p> <p>(3)来庁者、職員への啓発(5月29日～6月8日) 浜田合庁と浜田保健所におけるポスターの掲示と幟の設置</p> <p>(4)関係機関、団体への周知 禁煙治療実施医療機関、がん検診啓発協力事業所、浜田圏域健康長寿しまね推進会議構成団体、西川病院、たばこの煙のない飲食店・理美容店へのチラシの配布</p> <p>(5)事業所への周知 メンタルヘルス出張講座実施時における禁煙啓発パンフレットの配布</p> <p>2 未成年者の喫煙防止対策の推進 小中学校における防煙・禁煙教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市立原井小学校(6年) ・浜田市立石見小学校(6年) ・浜田市立第三中学校(3年) ・江津市立渡津小学校(6年) ・江津市立高角小学校(6年) ・浜田市立今福小学校(5・6年) ・浜田市立三階小学校(6年) ・浜田市立三隅中学校(1～3年) ・江津市立江津東小学校(6年) ・江津市立江津中学校(2年) <p>3 喫煙者の禁煙支援対策の推進 禁煙治療実施医療機関情報のホームページ掲載</p> <p>4 受動喫煙防止対策の推進(平成28年3月末現在)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(1)たばこの煙のない飲食店の登録・拡大</td> <td>新規2店舗登録</td> <td>計49店舗</td> </tr> <tr> <td>(2)たばこの煙のない理美容店の登録</td> <td>新規登録なし</td> <td>計27店舗</td> </tr> <tr> <td>(3)たばこの煙のない施設の登録(平成27年度～事業開始)</td> <td></td> <td>計82施設</td> </tr> </table>	(1)たばこの煙のない飲食店の登録・拡大	新規2店舗登録	計49店舗	(2)たばこの煙のない理美容店の登録	新規登録なし	計27店舗	(3)たばこの煙のない施設の登録(平成27年度～事業開始)		計82施設
(1)たばこの煙のない飲食店の登録・拡大	新規2店舗登録	計49店舗									
(2)たばこの煙のない理美容店の登録	新規登録なし	計27店舗									
(3)たばこの煙のない施設の登録(平成27年度～事業開始)		計82施設									
	2. 歯と食の部会	<p>1 7024よい歯のコンクールの開催 ※浜田江津歯科医師会主催事業の共催 ・応募期間:9月1日～10月30日 応募者:42名 最優秀賞1名、優秀賞5名</p> <p>2 食育月間・食育の日における普及啓発</p> <p>(1)食育街頭キャンペーン(6月19日) キヌヤブリン店、江津グリーンモールにおいてチラシ入りティッシュの配布および野菜摂取アンケートの実施(配布部数 各200部)</p> <p>(2)まちの食育ステーション事業 地元スーパー(キヌヤ4店舗)にうす味レシピを配置したり、野菜売り場に(野菜1日350g)の啓発ポスターの掲示</p> <p>3 歯と口の健康週間における啓発</p> <p>(1)高校での街頭キャンペーン(6月2日) ※禁煙推進部会との協働 浜田水産高校・江津工業高校</p> <p>(2)石見ケーブルテレビを活用した啓発(6月9日)</p> <p>4 食に関するキャッチフレーズ『野菜たっぷり・塩ちょっぴり』の普及啓発</p> <p>(1)うす味料理研究事業 ・食改交流会、検討会の開催(10月1日) 地域で普及するうす味料理の調理実習、うす味の定着に向けた意見交換</p> <p>(2)「朝食をしっかり食べよう調理体験教室」 ・若い年代へ、朝食摂取とともに野菜摂取についての啓発を実施。 島根県立大学浜田キャンパス(12月2日)、江津工業高校(2月4日)</p> <p>5 健康づくり応援店の拡大 ・外食を利用する人の健康管理を支援するため、メニューの栄養成分表示及び、健康情報を提供する飲食店を発掘 ※新規登録店 3店舗、廃止 2店舗、総店舗数 52店舗(平成28年3月現在)</p> <p>6 食育フェスタin浜田への参画(2月21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科コーナー(お口の体験遊び、咀嚼力判定ガム等)の実施 ・参加親子 約120名 									

区分	事業名	事業内容
② 圏域計画推進事業	3. 運動・健康づくり部会	<p>1 職場の健康づくり活動優良事業所表彰選考会及び表彰式</p> <p>(1) 選考会 9月30日 応募事業所 5事業所</p> <p>(2) 表彰式の開催 11月6日</p> <p>会長賞 中国ジェイアールバス浜田営業所</p> <p>特別賞 ヘアーサロンあづま</p> <p>奨励賞 浜田港運株式会社、永井建設株式会社</p> <p>努力賞 ALSOKあさひ播磨株式会社</p> <p>2 普及啓発活動</p> <p>(1) 普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田版介護予防事業「元気アップ！まめなくん体操」啓発活動の実施（「元気アップ！まめなくん体操」DVD等の配布） ・ロコモ予防パンフレットの配布 ・+10(プラステン)を活用した職域と地域での取り組みの拡大（アクティブガイドの普及啓発） <p>(2) ロコモ予防に関する研修会</p> <p>開催日 平成27年12月17日(水) 15:00～15:40 浜田合同庁舎</p> <p>参加者 浜田圏域健康長寿しまね推進会議委員、表彰受賞者他 約60名</p> <p>内容 講演及び実技指導「みんなで楽しく、ロコモティブシンドロームを予防しよう！」</p> <p>講師 島根県立体育館 指導員 瀬上悟 氏</p>
	4. こころの健康づくり部会	<p>1 普及啓発活動～心の健康づくり応援隊～</p> <p>(1) 世界自殺予防デー街頭キャンペーン</p> <p>日時 平成27年9月10日(木)</p> <p>①15:00～15:50 ②15:00～15:50 ③15:00～16:00</p> <p>④16:40～17:30 ⑤16:50～17:40</p> <p>場所 ①ゆめタウン浜田 ②江津グリーンモール ③キヌヤ金城店</p> <p>④キヌヤプリル店 ⑤キヌヤ二宮店</p> <p>参加者 ①16名(関係者14名+保健所2名) ②11名(関係者9名+保健所2名)</p> <p>③4名(関係者2名+保健所1名) ④11名(関係者9名+保健所2名)</p> <p>⑤9名(関係者7名+保健所2名)</p> <p>内容 啓発用チラシ・グッズを約1130部配布、幡の設置</p> <p>協力機関 浜田圏域健康長寿しまね推進会議、浜田圏域自死防止対策連絡会</p> <p>精神保健ボランティアのぞみの会、浜田圏域地域・職域連携推進協議会</p> <p>(2) 自死予防週間及び自死対策強化月間での普及啓発活動</p> <p>時期 平成27年9月10日～16日</p> <p>平成28年3月中</p> <p>内容 ①浜田保健所、浜田合同庁舎の来客者へのポスターの展示</p> <p>パンフレット・啓発グッズの配布、幡の設置</p> <p>②各団体の自主的な取組の拡大(グッズやリーフレット等を用いた啓発活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体へ希望数を確認後、グッズ及びチラシを送付(8団体、1290部) ・県の各地方機関へグッズ及びチラシを送付(10所属、約1000部) <p>(3) リーフレット、グッズ等の作成配布</p> <p>既存のリーフレット、グッズを随時配布。また要望があれば随時提供</p> <p>2 アルコールに関する学習会の開催</p> <p>日時 平成28年1月26日(火) 13:30～14:50</p> <p>内容 ①行政説明「アルコール関連問題について」</p> <p>②島根県断酒新生会の取組紹介及び体験談</p> <p>講師: 島根県断酒新生会 青木 幸夫 氏</p> <p>山口 源吉 氏</p> <p>千葉 きよみ 氏</p> <p>参加者 19名(こころの健康づくり部会員11名+その他8名)</p>

2 生活習慣病予防対策

浜田圏域は平均寿命及び平均自立期間が県下7圏域の中で最も低く、その延伸が最重要課題となっている。その要因の1つに県下で最も脳血管疾患死亡が多いことがあげられる。また、脳卒中がきっかけで認知障害や身体障害等の脳卒中後遺症者が増えている。脳卒中発症者とその家族に対し、急性期から維持期まで一貫した医療やリハビリ等が提供されるよう「脳卒中地域連携クリティカルパス」のスムーズな運用に向け取り組んでいる。

島根県保健統計によると、近年の浜田圏域におけるがんによる死亡は1年間に約350人で推移しており、死亡原因の第1位である。大腸がん・乳がん・子宮がんについては、年齢調整罹患率は県平均より低い、年齢調整死亡率はやや高くなっている。

糖尿病対策については、糖尿病対策推進会議において関係機関との連携を図りながら、適正管理や重症化予防の体制づくりや啓発活動を実施している。

(1) 脳卒中予防対策

島根県脳卒中等情報システム及び、平成17年から開始している「脳卒中発症者状況調査」から得られたデータを把握・分析し、脳卒中発症予防、再発予防、重症化予防の取り組みを進めてきた。平成20年度には、急性期から回復期のクリティカルパスを4病院（浜田医療センター、済生会江津総合病院、益田赤十字病院、益田医師会病院）を中心に検討・作成し、21年度に運用を開始した。その運用と共に、急性期病院が提供する退院連絡票を基に、データの評価分析や管内両市での訪問に活かしている。

名称	開催日	参加者	内 容
浜田圏域脳卒中対策検討会	①平成27年12月4日 ②平成28年2月16日	①浜田市、江津市、保健所計11名 ②浜田市、江津市、保健所計7名	① ・浜田圏域の脳卒中対策の現状と課題について ・浜田市・江津市における脳卒中対策の取組について ② ・第1回検討会を受けて、意見交換を実施（浜田市・江津市の再発予防の取組についての情報交換）
脳卒中情報システム事業連絡会	平成27年5月13日	浜田医療センター、浜田市、江津市、保健所	・脳卒中情報システムのフローチャートの見直しについて
【参画】 脳卒中地域連携クリティカルパス合同委員会	①平成27年7月24日 ②平成27年11月27日 ③平成28年3月11日	浜田医療センター、益田赤十字病院、益田医師会病院、済生会江津病院、浜田市、江津市、益田保健所、浜田保健所	・地域連携パスの運用状況 ・浜田圏域脳卒中対策事業に関する報告 ・意見交換

(2) 糖尿病予防、慢性腎臓病対策

	名称	開催日	参加者	内 容
検討会	浜田圏域糖尿病対策推進会議	平成28年3月10日	管内各医師会糖尿病対策担当理事、糖尿病専門医、透析専門医、浜田江津歯科医師会、西部糖尿病療養指導相談会、浜田地区栄養士会、健康運動指導士会、行政担当者 等 計18名	<p><報告、協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の糖尿病対策の現状について ・浜田圏域CKD連携システムの検討 ・糖尿病対策推進会議設置運営要綱の改正
	CKD事後対策検討会	平成28年2月16日	糖尿病専門医、透析専門医、保健所長他 計5名	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診後のCKD事後対策の検討(平成24年度作成の浜田圏域CKD連携システムの見直し)
啓発活動	浜田駅北医療フェスタ	平成27年10月18日	来場者 地域住民 340名	<p><会場> 浜田医療センター駐車場</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・血糖測定、血圧測定、相談、糖尿病友の会の紹介、パネル展示等
研修会	糖尿病対策関係者研修会	(江津市) 平成27年5月19日 (浜田市) 平成27年5月26日	医師会員、医療機関従事者、行政担当者 (江津市) 50名 (浜田市) 30名	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明 「圏域の糖尿病の現状」 ・講演 「島根県糖尿病予防・管理指針(第3版)について」 <p>講師: 山根病院副院長 山根雄幸氏</p> <p>※各市特定健診説明会に併せて実施</p>
その他	<p>○「浜田圏域糖尿病管理のしおり」の更新、更新のための社会資源調査の実施</p> <p>○他団体主催の研修会の案内通知、開催に向けての協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見糖尿病談話会(年3回) ・介護関連事業所や施設等に勤務する職員を対象とした糖尿病研修会開催への支援 			

(3) がん予防対策

	名称	開催日	参加者	内 容
検討会の開催	浜田圏域乳がん検診精度管理委員会	平成28年 2月23日	がん検診・精密検査実施医療機関、環境保健公社、浜田市、江津市、保健所 16名	1. 報告事項 (1) 乳がん検診を取り巻く最新情報について (2) 平成26年乳がん検診受診・精検結果の状況について (3) 市町村がん検診チェックリスト評価結果について 2. 協議事項 (1) 乳がん検診受診率向上のための効果的な取組について (2) その他
	浜田圏域がん予防対策連絡会	平成28年 2月3日	環境保健公社、浜田市、江津市、保健所 9名	1. がん検診実施状況について 2. がん検診事業の評価について 3. 意見交換
子どもに対するがん教育	がん教育出前授業への協力・支援	平成27年 7月3日	* 弥栄中学校PTCA研修会 会場: 弥栄中学校 参加者: 生徒、保護者、教職員、市内養護教諭、行政職員等 約100名	【内容】 1. 講演 「がんのひみつを知ろう」 講師 東京大学附属病院 放射線科准教授 中川 恵一 氏 2. 体験談 講師 日本がん・生殖医療研究会 阿南里恵 氏 3. グループワーク
		平成27年 12月7日	* 平成27年度がん教育 会場: 県立浜田高校 対象: 定時制課程 昼間部1年	【内容】 ・がん検診啓発サポーターによる講話 (※サポーターとの連絡調整、資料提供を行った)
その他啓発活動				(1) がん征圧月間(9月)、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)の取組 ① 石見ケーブルテレビを活用した啓発 ・行政(保健所・浜田市・江津市)による啓発(9月30日) ・健診機関(環境保健公社、浜田医療センター)と保健所による啓発(12月21日) ② 浜田合庁・保健所来庁者・職員への周知 ・浜田合庁・保健所における啓発幟やチラシの設置 ③ 食育推進研修会・交流会での情報提供(10月1日) (2) がん検診啓発協力事業所の登録拡大・情報提供 ・新規登録 7事業所 (3) 地域・職域連携推進協議会等関係会議における啓発 ・がん対策の取組等について情報提供 (4) 啓発幟・乳がん自己触診モデル等の貸出 (5) ピンクリボンツリーキャンペーンへの参画

3 働き盛り世代の健康づくりの推進

浜田圏域全体の継続的かつ包括的な健康づくり体制の整備を目指し、事業所による従業員の健康課題の改善に向けた取組や、個人の主体的な健康管理の支援を行うための仕組みづくりを行う。

浜田圏域では当面の重点目標を「脳卒中による死亡の減少」「がんによる死亡の減少」「自死の防止」の3点とし、健康長寿しまね推進会議等と連携して対策に取り組む。

<浜田圏域の現状>

・壮年期(40～64歳)の年齢調整死亡率が男女とも県内で最も高い(2008年～2012年の平均)

【男性】島根県:418.1、浜田圏域:474.0 【女性】島根県:179.1、浜田圏域:222.2

・疾患別の死亡原因は、①がん ②自死 ③脳血管疾患 の順が多い。

地域・職域連携推進事業

	名称	開催日	参加者	内 容
検討会の開催	浜田圏域地域・職域連携推進協議会	平成27年7月13日	江津市医師会、江津商工会議所、島根県商工会連合会石見事務所、全国健康保険協会島根支部、島根県環境保健公社浜田支所、浜田労働基準監督署、島根産業保健総合支援センター、浜田市、江津市、保健所(14名)	<ol style="list-style-type: none"> 情報提供等 <ol style="list-style-type: none"> (1)労働安全衛生(健康管理)を取り巻く状況について (2)労働者の健康状況等について 浜田圏域における壮年期の死亡状況について 各機関の取組について 浜田圏域地域・職域連携推進協議会の取組計画について <ol style="list-style-type: none"> (1)「働く人の健康づくり情報ファイル」の共有について (2)定期健康診断の受診率向上に向けた支援について (3)「職場の健康づくり講演会」について その他 <ol style="list-style-type: none"> (1)職場の健康づくり優良事業所表彰の実施について (2)からだを動かそうチャレンジコンテストについて
啓発イベントの開催	事業主セミナー打合せ会	平成27年 ①7月13日 ②8月24日	①浜田労働基準監督署、島根産業保健総合支援センター、浜田保健所 ②浜田労働基準監督署、島根産業保健総合支援センター、保健所	<ol style="list-style-type: none"> ①・開催内容について <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール、役割について ②・講演会当日の具体的内容について <ul style="list-style-type: none"> ・講演会当日までの事前準備について
	職場の健康づくり講演会	平成27年11月6日	75名(57事業所及び関係団体)	<ol style="list-style-type: none"> 平成27年度 健康づくり活動優良事業所表彰式 職場の健康づくり活動 事例報告 発表者 中国ジェイアールバス株式会社 浜田営業所 「労働安全衛生法が求める健康管理とストレスチェック」 浜田労働基準監督署長 講演 演 題「事業所におけるメンタルヘルス対策」 講 師 株式会社C's PORT(シーズポート) 崎山 宗恒 氏 情報提供 島根産業保健総合支援センター、島根県浜田保健所、浜田市、江津市
その他啓発活動等		○メンタルヘルス出前講座の実施 ○江津市職域保健部会への参画(3回)		

4 母子保健対策

母子保健対策は、母子保健法、児童福祉法を基本として次の世代を担うこどもたちを心身ともに健康に生み育てるために、思春期から一貫した対策を行っている。地域保健法の全面施行により平成9年度から住民に身近な保健サービスは市町村において実施し県はより専門的広域的な課題に基づく母子保健事業を実施している。平成25年度より、未熟児養育医療給付事業や育成医療支給事業が市町村へ権限委譲となった。

浜田圏域においては親と子が健やかに安心して暮らせる社会づくりの推進のため、「浜田圏域健やか親子しまね計画（平成25年度から平成29年度）」を策定し、関係機関が一体となり計画の推進を図っている。

(1) 母子保健推進体制の充実

母子保健従事者研修会

開催日	参加者	内容
平成28年1月28日	医療機関関係者、市及び保健所職員、その他母子保健従事者等 計23名	<ul style="list-style-type: none"> ・演題1：「育ちを支える響き合い」～保護者の関わりによって子どもの心にどのような影響を与えるか～ 講師：小池医院 院長 小池茂之氏 ・演題2：「事例をとおして現場から感じること」～保護者の心理と支援者としての関わり方～ 講師：浜田市教育委員会 SSW 加納美代子氏

母子保健担当者会

開催日	参加者	内容
①浜田市 平成27年11月13日	①浜田市保健師、浜田保健所 計6名	<ul style="list-style-type: none"> ・エジンバラ産後うつ質問票について ・意見交換
②江津市 平成27年11月26日	②江津市保健師、浜田保健所 計5名	

(2) 周産期医療体制検討会

圏域における周産期医療体制の現状を共通認識し、体制整備を図るため、関係者による検討会を開催

開催日	参加者	内容
平成28年2月17日	産科医療機関（浜田医療センター・済生会江津総合病院）、診療所産婦人科医、浜田市、江津市、保健所 計20名	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田圏域の周産期医療の現状について ・周産期医療体制の充実に関する各機関の取り組みについて ・意見交換

(3) 聴覚障がい児の早期発見・早期支援の体制に係る連絡会

開催日	参加者	内容
平成27年7月1日	浜田ろう学校、浜田市、江津市、保健所 計9名	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田圏域における聴覚障がいの早期発見・早期支援体制について ・浜田圏域における新生児聴覚スクリーニング体制の現状と課題について
①江津市 平成27年9月25日	①浜田ろう学校、済生会江津総合病院、江津市、保健所 計11名	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田圏域の新生児聴覚スクリーニング検査の現状と課題について ・情報交換
②浜田市 平成27年10月9日	②浜田ろう学校、浜田医療センター、浜田市、保健所 計10名	

(4) 長期療養児支援事業 医療的ケア必要児等ハイリスク児保健・医療連携事業

相談・訪問指導実施件数

	回数	実人員	延人員	内訳							(再掲)	(再掲)		
				申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就学・学校	食事・栄養	歯科	その他	医療的ケア	新規申請	重症
相談指導	小慢対象児	1	6		1			2			3	1		1
	その他													
	合計	1	6		1			2			3	1		1
訪問指導	小慢対象児													
	その他	3	12									3		
	合計	3	12									3		

◇親子交流会

- ・日本二分脊椎症協会島根支部第12回総会への参加（平成27年6月21日）

(5) 母子保健に関する統計（浜田圏域）

〔妊娠届出の状況〕

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
妊娠届出数	628	610	631	665	540
満11週以内	570	559	562	609	497
満12～19週	39	46	54	47	36
満20～27週	5	3	7	8	6
満28週以上	1	1	3	1	1
分娩後	0	1	1	0	0
不詳	13	0	4	0	0

※母子保健集計システム

〔出生数及び低体重児の出生状況〕

項 目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
出 生 数	609	593	591	596
低体重児出生数	73	81	66	75
出 生 割 合	12.0	13.7	11.2	12.6

※人口動態統計

〔妊婦、乳幼児健康診査等の実施状況〕

項目	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	妊婦一般	受診票交付数	1,256	1,220	1,262	1,330
	延受診者数	1,257	1,168	1,216	1,167	991
	受診率（%）	100.1	95.7	96.4	87.7	91.6
乳児一般	受診票交付数	1,244	1,218	1,098	1,210	1,143
	延受診者数	899	866	845	795	772
	受診率	72.3	71.1	77.0	65.7	67.5
1歳6カ月児	該当児数	654	625	634	566	618
	受診者数	628	588	612	547	596
	受診率	96.0	94.1	96.5	96.6	96.4
3歳児	該当児数	618	633	633	622	613
	受診者数	593	603	596	608	588
	受診率	96.0	95.3	94.2	97.7	95.9

※母子保健集計システム

〔人工妊娠中絶、不妊手術の状況〕

（平成27年度）

数	件	年齢階級別実施件数									
		20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳以上	不詳	計
人工妊娠中絶		8	25	28	17	28	12	1	0	0	119
7週以前		5	16	10	15	15	11	1	0	0	77
8～11週		2	12	7	2	9	1	0	0	0	35
12～15週		0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
16～19週		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20～21週		0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
週不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不妊手術			0	4	5	4	2	0	0	0	15

※人工妊娠中絶件数 管内者 96 件、管外者 23 件

※不妊手術件数 管内者 14 件、管外者 1 件

〔小児慢性特定疾患治療申請状況〕

(平成27年度)

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病 血液疾患	免疫疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	合計
申請件数	9	5	8	18	0	5	2	4	1	3	2	57

※人数は54人 内3名は重複疾患あり

〔特定不妊治療費助成件数〕

(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請件数	1	3	3	3	2	2	6	11	12	1	14	16	74

管内各市における母子保健事業一覧(平成27年度)

市町村名		浜 田 市	江 津 市	
H26年出生数		442人	161人	
妊娠・出産包括支援事業 *必須・任意事業の内容				
青年 思春 期	講演会・教室・フォーラム等	学校等へ性教育教材貸し出し 浜田：中高生ヤング子育てサポーター育成事業 小学生赤ちゃんふれあい体験（社協事業への協力）	高校生ヘルシークッキング年3回 赤ちゃん登校日（子育てサポートセンター）市内2小学校で開催	
妊娠中	妊娠届出の対応	母子手帳交付とともに保健指導を実施 妊娠届出用紙に虐待リスク把握のアンケート項目を追加している 保健指導・栄養指導・食生活アンケート	母子手帳交付 保健指導、栄養指導 生活アンケートをとり、虐待予防の視点をもって対応	
	健康相談	電話相談、窓口相談（随時） 転入時母子保健サービス紹介とともに保健指導実施	電話相談、窓口相談を随時実施	
	妊婦健診（委託健診）	妊婦一般健康診査（14回）県内医療機関委託、県外も可能	妊婦一般健康診査（14回）県内医療機関委託、県外は償還払い	
	妊婦歯科健診	1歳6か月健診時希望者のみ実施	母子手帳交付時に健診を勧める	
	妊婦訪問	特定妊婦、必要時	必要時	
	妊婦に関する教室活動	ママパパ学級（計24回）・音楽リラクゼーション（月2回）・マタニティ相談	パパママ教室（年12回）・おっぱい相談（年12回）	
出生	出生届出時の保健指導	出生届出時に、母子保健・子育て支援サービス紹介、予防接種の説明に加え母子の健康状態把握し、保健指導実施・こんにちは赤ちゃん訪問のPR	母子の健康状態把握、予防接種手帳の発行、赤ちゃんの手引き配布（健診・相談）、訪問のPR、母子保健サービスの説明	
新生児・乳幼児期	こんにちは赤ちゃん事業 *訪問者、継続支援の方法等		訪問者：専門職及び市職員（保健師・委嘱助産師・看護師・栄養士等）、ボランティア等一般の人（子育て応援隊等） 継続支援が必要な対象者に対しては、訪問、乳児健診、その他母子保健事業・子育て支援事業において継続支援する。	
	養育支援訪問事業 *中核機関名、サービス等		中核機関：浜田市子育て支援課 対象家庭に対し、電話、訪問等による積極的アプローチを行い、養育に関しての必要時応じたきめ細かい助言指導を行う。困難及び緊急事例については、要保護児童対策地域協議会調整機関として対応し、必要時にケース会議の開催や実務者会議で進行管理を行う。	
	訪問	新生児	こんにちは赤ちゃん事業による訪問 委嘱助産師保健師による訪問（出生連絡票による希望者、その他希望者、必要時） 必要時保健師による（ハイリスク者）	病院から連絡訪問依頼ケース（ハイリスク児） 必要なケース（育児不安の強いケース） こんにちは赤ちゃん事業による訪問
		乳児	こんにちは赤ちゃん事業による訪問 必要時	健診未受診児、要観察児 こんにちは赤ちゃん事業による訪問
		幼児	必要時	健診未受診児、要観察児、必要時
	健康診査	乳児	医療機関委託健診	乳児一般健康診査（前期・後期）県内医療機関委託
		乳児	集団検診	年12回（4～5か月）
1歳6か月児			年12回（1歳6か月～1歳7か月）	
3歳児			年12回（3歳3か月～3歳4か月）	
その他				
	未受診者対策	郵送にて勧奨、次回呼び出し、訪問、園巡回時発達等の確認	郵送で勧奨、訪問、保育園巡回相談時発達等の確認	

市町村名		浜 田 市	江 津 市	
新生児・乳幼児期	教室	離乳食等 離乳食講座（毎月実施） 幼児食講習（毎月実施） 浜田：子育て広場（年12回×浜田5地区） 三隅： みすみ子育て広場（社会福祉協議会月1回、三隅支 所月2回（育児相談を含む）公民館毎週1回） 金城・旭・弥栄：育児相談・子育てサロンにあわせて 実施 ひよこの会（1歳未満児と保護者の会）・すくすく 講座（年6回）・音楽リラクゼーション（月2回）・ 絵本の会（月2回）・手作り布おもちゃの会（月1回）・ 親子ふれあい遊び（月1回）・親子体操（月1回）・ママ の集い（年6回）・あそび一ぱ（月1回 養育支援目 的）、わくわくタイム（月1回）、歯つびータイム （1回/2月）	年24回（2会場で実施、健康相談と同時） 離乳食教室（年12回、月齢別で開催） 年6回（乳児健診と同時実施）	
		乳児	子育てサポートセンター主催：ふれあい遊び・赤 ちゃん講座・ベビー3B体操など	
		幼児	出前講座：「早寝早起き朝ごはん」「むし歯予防」 など 希望により随時開催 市内子育て支援センター（3か所）及びサポートセ ンターにて、毎月定期的に教室を開催（遊び、食 育、親子体操、政策等）	
	歯科保 健	教室	浜田：在宅児年4回（フッ化物歯面塗布とあわせて 個別歯科指導実施）旭：在宅児年2回（フッ化物歯 面塗布とあわせて個別歯科指導実施）	年2回むし歯予防教室 歯科教室（思春期を対象に年10回程度）予定
		フッ化物塗布	浜田：在宅児年4回、各保育園・幼稚園年2回ずつ 金城・弥栄・三隅：各保育園年2回 旭：在宅児年2回	年2回むし歯予防教室にて歯科検診と同時実施 各保育園・幼稚園 年2回ずつ 1歳6ヶ月健診時（年6回）
		フッ化物洗口	小中学校（教育委員会の事業）	市内4校で実施（教育委員会事業）
	子育て相談	来庁者随時 子育て支援センター育児相談（週2回、保健師、栄 養士、保育士、助産師、歯科衛生士による相談）、 ママのこころの相談、その他随時メール・電話相談 金城・三隅・旭：月1回育児相談実施、弥栄：年6回 育児相談実施	年24回（2会場で実施、離乳食相談と同時） 子育てサポートセンターにて随時実施（メール・電 話等）、 子育てサポートセンター主催事業時の個別栄養相談 （年48回） おっぱい相談（江津会場 年12回）	
	その他子育て支援事業 （ブックスタート事業 他）	産前産後家事支援サポーター派遣事業 転入時、乳幼児に母子保健・子育て支援サービ ス紹介、予防接種紹介とともに保健指導実施 浜田市子育て応援隊育成事業 乳児健診時に読み聞かせ及び絵本のプレゼント 乳幼児期からの生活習慣づくりモデル事業 未就園児向け保育所幼稚園情報リーフレットの作 成、配布	子育てサポートセンター事業： 食育講座 命の大切さを知るこころの教育（小学生・中学 生・高校生セミナー） ボランティア育成講座 こどもまつり（6月）・クリスマスコンサート （12月） 乳児健診時に読み聞かせ及び絵本のプレゼント、3 歳児健診時での絵本の読み聞かせ	
	障害児等	ミニ療育教室		自立支援法により西部島根医療センターにおいて実 施
		発達クリニック	年12回すこやか健診	年12回発達健康相談
障害児相談等		随時 保育所幼稚園巡回相談 三隅聖こう察巡回相 談 年中児発達アンケートの実施	保育所巡回相談（5～1月） 発達フォロー児（在 宅）を対象に健康相談を実施（年10回）	
推進体 制	会議等	浜田市保健医療福祉協議会 要保護児童対策地域協議会（児童福祉） 浜田市特別支援連携協議会（教育委員会） 相談 支援チーム検討会（年3回） 金城げんきっ子運動推進委員会（教育委員会）、三 隅自治区特別支援教育連絡会、やさかっ子を育てる 会（養護教諭、学校医）	要保護児童対策地域協議会 ごうつすくすく相談ネット協議会 ごうつすくすく相談ネット支援チーム会議 健康づくり推進協議会母子保健部会 子育てサポートセンター・支援センター等事業連絡 会	
	母子保健推進員（人）	0人	0人	
	委嘱助産師等（新生児訪 問）（人）	助産師2人	0人	

5 歯科保健対策

○80歳20本の歯推進事業

8020の達成を目指すため、「島根県歯と口腔の健康づくり計画」及び「浜田圏域保健医療計画」に基づき、ライフステージに沿った歯科保健対策を推進するため、関係機関と連携を図り、8020の達成を目指す。

1) 歯科保健定着促進事業

(1) 歯科保健連絡調整会議

開催日	内 容	出席者
平成28年2月25日	<p><議事></p> <p>1 浜田圏域の現状・課題について</p> <p>2 平成27年度の取組状況および平成28年度の計画について</p> <p><情報提供></p> <p>1 歯周病検診マニュアル2015について</p> <p>2 島根県乳幼児健診マニュアルについて 浜田圏域における歯科保健の取組について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田江津歯科医師会 ・浜田地区歯科衛生士会 ・島根県環境保健公社浜田支所 ・浜田市 ・江津市 ・浜田市教育委員会

2) 市支援

(1) フッ化物洗口技術支援

(2) フッ化物歯面塗布事業

- ・歯科衛生士法の一部改正に伴い、今後の実施体制について両市ともに検討。
- ・歯科衛生士会、歯科医師会、保育所幼稚園等と検討を行い、各市版の実施マニュアルを作成。

(3) 人材確保への支援

- ・市町村歯科保健事業への人材確保調整(江津市)
- ・地域歯科衛生士の資質向上のための連絡会の開催(浜田市;2か月に1回開催、江津市;年4回開催)

3) 啓発事業

(1) 「親と子のよい歯のコンクール」 地区大会

- ・平成27年度推薦親子なし

(2) 歯と口の健康週間における街頭啓発

- ・高校での街頭キャンペーン(6/2)
- ・石見ケーブルテレビを活用した啓発

(3) 「まめなたより」により啓発

- ・春号にて、圏域の状況および歯周病セルフチェックの記事を掲載

4) 歯科保健に関する統計データ

〔 1歳6か月歯科健診結果年次推移 〕 出典：島根の母子保健(母子保健集計システム)

①むし歯有病者率の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
浜田圏域	2.8	1.6	1.5	1.2	1.0	0.9	1.6	1.76	1.58	0.68	1.28	1.55	2.45	2.56
島根県	4.0	4.2	4.3	4.1	4.2	4.3	4.5	3.11	2.98	2.25	2.35	2.38	2.41	2.70

②一人平均むし歯本数の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
浜田圏域	0.06	0.04	0.03	0.05	0.03	0.03	0.04	0.05	0.04	0.02	0.04	0.04	0.08	0.07
島根県	0.11	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.08	0.08	0.06	0.07	0.06	0.06	0.07

〔 3歳児歯科健診結果年次推移 〕 出典：島根の母子保健(母子保健集計システム)

①むし歯有病者率の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
浜田圏域	27.9	27.9	26.8	24.1	20.1	21.0	14.9	14.7	14.7	13.0	13.7	11.3	17.8	15.5
島根県	35.8	33.5	32.5	29.7	27.4	27.3	25.9	26.5	23.3	22.3	22.1	20.1	21.2	20.2

②一人平均むし歯本数の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
浜田圏域	0.97	0.98	0.98	0.74	0.58	0.70	0.47	0.46	0.39	0.39	0.41	0.27	0.52	0.50
島根県	1.56	1.56	1.37	1.09	1.03	1.04	0.94	0.93	0.81	0.77	0.72	0.64	0.73	0.67

〔フッ化物洗口実施施設一覧〕

出典：フッ化物洗口実施施設歯科健診調査

平成27年度

	施設名	施設区分	全児童数
浜田市	雲城小学校	小学校	145
	今福小学校	小学校	43
	波佐小学校	小学校	16
	今市小学校	小学校	116
	岡見小学校	小学校	55
	金城中学校	中学校	127
	旭 中学校	中学校	52

	施設名	施設区分	全児童数
江津市	郷田小学校	小学校	116
	江津東小学校	小学校	119
	桜江小学校	小学校	107
	高角小学校	小学校	237
	渡津小学校	小学校	102
	江東中学校	中学校	59
	桜江中学校	中学校	68

〔永久歯のむし歯状況（フッ化物洗口実施施設）〕

平成27年度

出典：フッ化物洗口実施施設歯科健診調査

	一人平均むし歯数		有病者率	
	島根県	浜田圏域	島根県	浜田圏域
小学校1年	0.08	0.03	5.31	2.58
小学校2年	0.25	0.14	14.17	10.38
小学校3年	0.29	0.13	15.77	9.44
小学校4年	0.54	0.17	25.57	13.13
小学校5年	0.54	0.34	25.78	20.34
小学校6年	0.79	0.37	31.22	22.29
中学校1年生	0.88	0.50	35.91	21.78
中学校2年生	1.07	0.57	39.90	29.03
中学校3年生	1.23	0.81	42.03	32.71

〔学校歯科健診結果（12歳児）〕

一人平均むし歯本数の年次推移

出典：島根県市町村歯科保健対策評価表

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
浜田圏域	2.09	1.91	1.62	1.61	1.41	1.44	0.92	0.99	1.14	1.48	0.97	1.17	0.92	1.11	0.85
島根県	2.52	1.94	2.13	1.95	1.93	1.82	1.70	1.59	1.50	1.30	1.38	1.36	1.32	1.2	1.09

6 栄養改善対策

保健所における栄養改善対策は、地域の健康・栄養状態の把握・分析、住民への直接的な指導を行う市町村への支援、関係機関との広域的な調整等を行っている。また、健康増進法に基づく誇大表示の禁止に係る相談や外食栄養成分表示制度の推進等、住民が自分にとって望ましい「食」を選択できるような環境整備を推進している。

特定かつ多数人に食事を提供する施設の栄養管理については、栄養管理状況報告書の提出による状況把握及び個別巡回指導を行っている。特に、健康増進を目的とした特定給食施設に対しては、肥満及びやせの割合の増加の程度を確認し、個別の施設指導を実施している。

「食育」の推進については、食生活改善推進員等食育推進ボランティアの活動活性化に向けた支援を行っている。併せて、26年度は、若い世代(高校生・大学生)の食育実践行動を目指した調理体験教室を開催したり、スーパーマーケットを食育ステーションと位置づけ、店舗でうす味レシピを活用した普及活動を行った。

〔外食栄養成分表示店(健康づくり応援店)店舗数〕(H28.3.31現在)

店舗数(実数)	52	内訳	栄養成分表示店	17	※重複有り
			健康情報提供店	50	

〔誇大表示の禁止(健康増進法31条)相談件数〕

	31条		集団(研修会)
	指導(指摘等あり)	事前相談	
件数	0	1	

〔給食施設数〕

		栄養士(管理栄養士)がいる施設	栄養士(管理栄養士)がいない施設
特定給食施設	1回300食以上又は1日750食以上の施設	8	0
	1回100食以上又は1日250食以上の施設	30	1
その他の給食施設(1回50食以上)		30	7

〔給食施設指導状況〕

個別指導

	特定給食施設				その他の給食施設		合計
	指定施設		指定施設以外		病院	福祉施設等	
	病院	福祉施設	病院	福祉施設等			
指導施設数	3	0	1	3	5	1	13

健康増進を目的とした施設への指導

特定給食施設		合計
寄宿舎	その他	
1	0	1

※〔その他の給食施設〕指導数には、1回50食未満の施設への指導も含む。

〔食育の推進〕

名称	開催日	対象・参加者	内容
朝食をしっかり食べよう調理体験教室	平成27年12月2日	島根県立大学浜田キャンパス学生 9名	・講話「正しい食生活」 ・調理実習のテーマ～簡単に作れる朝食、野菜たっぷりメニュー～
	平成28年2月4日	江津工業高等学校総合電機科2年生 25名	・講話「朝食の大切さ」 ・調理実習のテーマ～自分で作って食べる朝ごはん～
まちの食育ステーション事業	平成27年6月～	(株)キヌヤプリル店、笠柄店、金城店、二宮店	・うすあじレシピの配置 ・野菜コーナーに野菜1日350g摂取啓発パネルの設置
食育検討会	平成27年7月2日 平成28年3月3日	栄養士会、食生活改善推進協議会、食品衛生協会、歯科医師会、歯科衛生士会 11名	・地域における食育の普及啓発のために、食育活動にかかわる関係団体間の情報交換を実施。
食育推進交流会	平成27年10月1日	食生活改善推進協議会代表者及び事務局担当者(各市担当) 17名	・調理実習 ・意見交換 〔がん検診受診率向上に向けた取組 うす味の食習慣の定着〕
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・浜田市食育推進ネットワーク会議、江津市食育推進会議への参画及び、食育啓発イベント「食育フェスタin浜田」への協力 ・ボランティアとして地域の食育活動等に貢献した人に対し、保健所長感謝状を授与 ◆H27年度末 管内食生活改善推進員数：471名(浜田市356名 江津市115名) 	

7 地域保健体制の整備

地域においては、健康課題や地域の特性を踏まえた総合的な保健福祉活動の展開が必要である。圏域においては、浜田圏域健康長寿しまね推進会議、各市においては、下記のとおり、協議の場を設けて地域における保健対策を推進している。

〔市協議会等設置状況〕

市町村名	会 議 名	摘 要
浜 田 市	浜田市保健医療福祉協議会	①地域福祉専門部会 ②地域保健医療専門部会 ③高齢者保健福祉専門部会 ④障がい者福祉専門部会 ⑤子ども・子育て支援計画策定専門部会 ⑥食育推進ネットワーク会議
江 津 市	江津市保健福祉総合推進協議会	①健康づくり推進協議会（母子保健部会・職域保健部会） ②地域福祉推進協議会 ③高齢者福祉推進協議会 ④障害者保健福祉推進協議会 ⑤次世代育成支援推進協議会

【人材育成・研修】

〔地域保健専門職員研修会開催状況〕

開催日	参加者	内 容
平成27年 10月29日	参加者：19名 浜田市、江津市、保健所の保健師、管理栄養士、歯科衛生士等保健活動に従事する者	テーマ：『地域診断に基づいた保健活動の展開』 【講演】「今なぜ地域診断か」 浜田保健所 所長 竹内 俊介 【活動紹介】 「邑南町の保健活動」 ～効果的、効率的な取組みを目指して～ 邑南町役場 課長補佐 土崎しのぶ氏 【管内の活動報告】 浜田市、江津市における地域診断・地区活動の取組 【グループワーク、まとめ】

〔人材育成連絡会等開催状況〕

開催日	参加者	内 容
平成27年 8月5日	参加者：12名 管内新任保健師、プリセプター、指導者	【情報交換】 「各所属における新任保健師・歯科衛生士指導計画と実施状況」 【意見交換】
平成28年 3月7日	参加者：18名 管内新任保健師、プリセプター、指導者等	【新任保健師・歯科衛生士による活動発表】 「1年間の業務を通して実践テーマを選定、活動のまとめを行い発表」 【意見交換】

〔人材の確保状況〕 (H27年4月1日現在) (正規職員のみ)

		浜田市	金城自治区	旭自治区	弥栄自治区	三隅自治区	江津市	保健所
保 健 師	保健関係	10	2	2	2	2	8	7
	福祉関係	2	0	0	0	0	3	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士		3	0	0	0	0	3	1
歯科衛生士		0	0	0	0	0	0	1

8 精神保健福祉対策

精神保健福祉対策は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者総合支援法、自殺対策基本法等に基づき、全てのライフステージにおける1次予防の心の健康づくりから、精神障がい者が地域社会で充実した生活を送ることを目指した3次予防までの対策を行っている。

浜田圏域の現状をみると、男性は働き盛り世代の自死者が多いため、壮年期を中心とした自死予防に焦点を当てた心の健康づくりや早期発見・早期治療の強化、加えて精神科救急体制の整備による適切な医療の確保に向けた取組を推進している。

また、精神疾患を持ちながら地域で自分らしく生活するための取組みの1つとして、平成20年度からは、「治療中断予防システム」を構築することにより、病状悪化予防対策の推進を図ってきた。平成27年度は7年間の取組の成果を振り返り、より効果的な支援が提供できるよう、システムの見直しを行い、支援手順を作成した。

1) 心の健康づくり

地域住民が心の健康に関心を持ち、心の健康の保持増進ができるように、各関係機関が連携してライフサイクルに沿った普及啓発活動に努めている。

(1) 精神保健相談

- ①定期相談（所内相談12回＋巡回相談21回、計33回計画） 44 件
- ②随時相談 39 件
- ③訪問相談 54 件
- ④電話相談 338 件

(2) メンタルヘルス出張講座（事業所を対象に実施）

事業所を対象に、職場におけるメンタルヘルス対策の推進を目的に実施。

開催日	事業所名	参加者	内 容
6月24日	シンセイ技研	7名	・職場におけるメンタルヘルス対策について（ストレス・睡眠） ・こころとからだの健康づくりについて（血圧の自己チェック・食事の栄養バランス・禁煙）
6月25日	島根あさひ社会復帰促進センター	70名	・3つの精神疾患（統合失調症、うつ病、パーソナリティ障害）それぞれの原因や症状、治療法、関わり方について ・自死を防ぐための対応について
9月25日	島根あさひ社会復帰促進センター	100名	・職場におけるメンタルヘルス対策について
9月30日	島根職業能力開発短期大学	18名	・職場のメンタルヘルス対策について ・メンタルヘルス不調対策 ・改正労働安全衛生法（ストレスチェック制度の概要） ・職場のコミュニケーション
3月1日	浜田市社会福祉協議会	22名	・こころの健康づくりについて ・ゲートキーパーについて

2) 自死防止対策

浜田圏域の全年齢における年齢階級別の自死者数の推移をみると、自死者数全体の推移は平成20年以降減少している。年齢階級別では特に男性の40～64歳の壮年期が大きな割合を占めている。

(1) 浜田圏域自死防止対策連絡会

- ・実績なし

(2) 普及啓発活動

①世界自殺予防デー街頭キャンペーン

開催日	参加者	内容
9月10日	37名 浜田圏域健康長寿しまね推進会議、浜田圏域自死防止対策連絡会、メンタルヘルスボランティアのぞみの会、浜田圏域地域・職域連携推進協議会	心の健康についての普及啓発のため、チラシ・グッズを計1000部配布。 グリーンモール、ゆめタウン浜田、キヌヤ金城店、キヌヤプリル店、キヌヤ二宮店にて実施。

②各団体の自主的な取組の拡大(グッズやリーフレットなどを用いた啓発活動)

- ・啓発グッズ・リーフレット送付団体：18団体(啓発グッズ・リーフレットを約2290部送付)
- ・啓発グッズ・リーフレット活用方法：職場内研修会、各所属に配置し来客者向けに啓発、独自にキャンペーンを実施し配布 等

(3) 人材育成

ゲートキーパー養成研修会 ※メンタルヘルス出前講座に合わせて実施

開催日	参加者	内容
3月1日	浜田市社会福祉協議会職員	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくりについて ・ゲートキーパーについて

3) 精神科救急医療対策

精神疾患の発症、悪化により速やかな医療提供が必要な者に対して、迅速かつ適切な医療が確保できる体制づくりを目指している。近年は、身体、精神の双方の症状を併せ持つ患者が、適切でかつ速やかに医療提供が受けられるよう、関係機関の連携を図っている。

今年度は、精神科症状を有する患者から救急要請のあった事例にもとづいて、円滑な搬送や支援方法を確認するとともに、関係機関が基本的な対応の確認ができる「精神科救急フローチャート」を作成した。

(1) 精神科救急医療体制整備圏域連絡調整会議

開催日時	参加者	内容
2月24日	10機関（16名） 西川病院、田中クリニック、浜田医療センター、浜田警察署、浜田消防本部、江津邑智消防組合消防本部、ヴィレッジせいわ、浜田市、江津市、こころの医療センター	<ul style="list-style-type: none"> 精神科救急医療体制整備事業実績報告 近年の課題とその対応について 浜田圏域精神科救急フローチャートの作成

(2) 消防および精神科救急病院との意見交換会

開催日時	検討機関	内容
7月9日	浜田消防本部、保健所	精神症状を有する患者の救急要請の実態とその対応方法について
7月14日	江津邑智消防本部、保健所	精神症状を有する患者の救急要請の実態とその対応方法について
10月22日	西川病院、保健所	精神症状を有する患者の救急対応手順について

(3) 関係機関学習会および所内学習会の開催

開催日時	対象者	内容
8月17日	所内職員	措置診察におけるフローチャートの作成と措置手順の確認
9月2日	消防署、警察署、市役所職員（江津市）	非自発的入院にかかる行政の役割と立場
2月4日	市役所職員（浜田市）	非自発的入院にかかる行政の役割と立場

(4) 警察とのケース共有

通報のあったケースについて病状悪化を未然に防ぐため、支援方針の確認を行った（年2回）

(5) 措置入院・通報処理状況（平成27年度実績）

	申請通報件数		
	申請通報件数	措置件数	非該当
22条による申請	4	2	2
23条による通報	4	2	2
24条による通報	2	1	1
25条による通報	0	0	0
26条による通報	3	0	3
計	13	5	8

4) 社会復帰対策

精神障がい者が自立した日常生活を営むためには、医療機関だけではなく、地域における保健、福祉分野が包括的な支援体制を構築する必要がある。そのため、圏域における社会資源を効果的に活用できるよう、現状や課題の把握に努め、各関係機関の連携強化を図っている。

特に浜田圏域においては、地域全体で治療中断予防に向けた取組を継続的に推進する体制の強化を図っている。

(1) 精神障がい者社会適応訓練事業

- ・実績なし

(2) 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業

①精神障害者地域生活移行・地域定着支援圏域会議（実務者会議）

参加機関と職種：西川病院、こころクリニックせいわ、市、保健所
(医師、精神保健福祉士、保健師)

開催日時	内容
6月4日	・浜田圏域治療中断予防システムの運用状況と成果、課題について ・今後のシステムのあり方について意見交換
9月3日	・浜田圏域の支援体制のあり方について意見交換
12月3日	・浜田圏域の支援体制のあり方（支援手順）の作成
3月3日	・支援手順案の最終検討 ・支援手順の今後の活用方法について意見交換

②自立支援ボランティア活用事業

- ・登録者数：11名
- ・活用状況：13件
- ・連絡会の開催（年3回）

開催日時	参加者	内容
4月22日	9名参加 ボランティア、受託機関陽だまり、浜田市、江津市、保健所	・平成26年度活動の報告 ・役割と位置づけについて ・今後の活動体制について ・PR紙の作成について
8月4日	12名参加 ボランティア、受託機関陽だまり、浜田市、江津市、保健所	・PR紙の作成について
11月20日	10名参加 ボランティア、受託機関陽だまり、浜田市、江津市、保健所	・PR紙の作成について ・次年度の活動予定について

③こころの健康ボランティア養成講座

開催日	開催回数	参加者数（延べ）	内容
10月27日 11月4日 11月9日、12日、17日 11月30日	4回	43名 (第1～4回の参加者の合計)	・心の病気について ・精神障がい者への支援について ・施設体験実習 ・ボランティア活動について

※修了証交付者は、4名

5) 地域精神保健医療福祉推進体制の整備

浜田圏域における自立支援医療受給者数（精神通院医療）および精神障害者保健福祉手帳所持者数は年々増加傾向にあり、さらなる精神科医療体制の整備が求められている。

圏域には入院医療機関が1機関（408床）、通院医療機関が4機関、加えて児童精神医療が提供できる機関は通院機関1か所あり、これらの医療機関を中心に、11カ所の相談支援事業所をはじめとした地域生活支援事業所、就労・職場復帰に関する機関、行政が連携をとりながら精神保健福祉体制を確立している。しかし、社会資源は浜田市中心部に集中し、郊外には少ないことから、引き続き保健・医療・福祉機関が連携し、精神保健福祉体制の現状や課題について検討し、更なる支援体制の構築を目指している。

(1) 浜田圏域精神保健福祉協議会

実施なし

(2) 浜田圏域精神保健担当者連絡会

開催日時	参加機関	内容
4月26日 4月28日	浜田市（障がい福祉係） 江津市（障がい者福祉係）	・平成27年度事業計画について ・各事業についての意見交換他
2月24日	浜田市（障がい福祉係）	・精神科救急に関する情報提供 ・障害者総合支援法についての情報提供 ・ケース検討他

(3) 組織育成と活動支援

自立支援協議会、精神保健ボランティアのぞみの会、家族会、断酒会、認知症ネットワーク連絡会、高次脳機能障害連絡会等への参画

6) 子どもの心の診療ネットワーク事業

島根県では子どもの心の問題、児童虐待や発達障害児に対する支援体制を構築するために、県立こころの医療センターを中核として平成24年度から当事業を開始した。浜田圏域においては限られた社会資源の中で、関係機関が連携を図り、切れ目なく支援できる体制の構築、支援者の人材育成に向けた取組を目指している。また、様々な子どもの心の問題に対して、専門職に子どもの心の状態に応じた対応方法について、本人・家族または関係者が相談できる場として平成26年度より子どもの心の健康相談を開始した。

(1) 子どもの心の健康相談

回数：4回（5月15日、7月31日、8月21日、12月4日）
 スタッフ：県立こころの医療センター 医師（7月31日のみ）臨床心理士2名、保健所保健師
 相談件数：6件（実件数 5件）

(2) 浜田圏域子どもの心の診療ネットワーク会議

開催日時	参加機関	内容
7月31日	14機関（25名） 西部島根医療福祉センター、西川病院、浜田市医師会、江津市医師会、浜田市教育委員会、江津市教育委員会、西部発達障害者支援センターウィンド、浜田市、江津市、浜田児童相談所、浜田教育事務所、こころの医療センター、島根県障がい福祉課	1. 子どもの心の診療ネットワーク事業について 2. 浜田圏域子どもの心に関わる関係機関の連携図について 3. 各機関の取組状況、課題について

(3) 人材育成

- ・事例検討会（7月31日）
 <参加者>
 学校教諭、教育委員会職員、教育支援センター職員、市役所職員
 助言者：県立こころの医療センター（医師、臨床心理士、精神保健福祉士）
- ・医師中央派遣研修（9月27日）
 地域の医療機関の専門性の向上を図ることを目的として、地域の医療機関の医師に対して、子どもの心の診療にかかる中央派遣研修を実施（圏域医師1名）
- ・「子どもの心を考える」かかりつけ医・学校医等研修会（11月23日） ※県障がい福祉課主催
 <参加者>
 かかりつけ医や学校医として子どもと関わる小児科医、内科医等の医師、医療・保健・福祉・教育関係者等

7)精神保健に関する統計

[措置入院・通報処理状況] (平成27年度実績)

(単位：件)

	申請通報件数	措置件数	
		措置件数	非該当
22条による申請（一般人）	4	2	2
23条による通報（警察官）	4	2	2
24条による通報（検察官）	2	1	1
25条による通報（保護観察所）	0	0	0
26条による通報（矯正施設）	3	0	3
計	13	5	8

[医療保護入院届出状況]

(単位：件)

疾患名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
症状性を含む器質性精神障害（認知症 等）	139	115	106	101	155
精神作用物質使用による精神及び行動の障害（アルコール・薬物乱用 等）	2	7	4	5	6
統合失語症、統合失調症型障害及び妄想性障害	56	84	54	44	27
気分（感情）障害	15	27	18	17	16
その他	3	12	20	9	4
計	215	245	202	176	208

[精神保健相談実施状況]

(単位：件)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
方法別	1,657	1,013	1,365	557	475
定期相談	42	32	23	66	44
随時相談	119	116	129	53	39
電話	1,393	809	1,121	382	338
訪問	103	56	92	56	54
内容別*	264	204	244	182	137
社会復帰	0	0	3	0	0
老人精神保健	26	7	9	21	9
アルコール	14	6	2	7	8
思春期保健	8	0	6	8	12
心の健康づくり	17	2	4	7	0
薬物	3	0	0	0	0
その他	196	189	218	139	108

※内容別：電話相談を除く

《医事・難病支援課》

1 医療対策

(1) 医療提供体制の整備

改正された島根県保健医療計画の期間は平成25年度から平成29年度までの5年間で、平成27年度は期間の3年目にあたる。浜田地域保健医療対策会議（全体会議）において、保健医療提供体制の確保について、今後の施策の方向性について検討した。

また、在宅医療の推進など、医療の提供体制の検討を行った。

(全体会議)

○浜田地域保健医療対策会議

平成28年3月29日	地域医療構想について
------------	------------

(テーマ別の検討会議)

○医療・介護連携部会

平成27年8月5日	地域医療構想における病床数の推計について
平成28年3月17日	島根県地域医療構想骨子について 構想区域別推計の結果と課題について 在宅医療に掛かる指標について

○緩和ケア検討会

実施せず	
------	--

(2) 医師・看護師等確保対策

平成27年8月18-20日	平成27年度夏季地域医療実習(浜田市国民健康保険診療所連合体、浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田保健所) (島根大学、山口大学から4名)
平成28年3月8-10日	平成27年度春季地域医療実習(浜田市国民健康保険診療所連合体、浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田保健所) (島根大学から5名)

(3) 適正な医療

医療機関を科学的で、かつ、適正な医療を行う場にふさわしいものとするを目的に、病院に対しては「医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱」に基づき年1回、有床診療所及び人工透析機設置診療所に対しては「診療所立入検査実施要綱」に基づき3年に1回の立入検査を実施している。また、平成15年度からは無床診療所（歯科診療所を含む）に対しては「無床診療所（歯科診療所を含む）立入検査実施要綱」に基づき5年に1回の立入検査を実施している。

表1 平成27年度実施状況（件）

病院	有床診療所	人工透析機設置診療所	無床診療所	歯科診療所
9	3	1	17	7

(4) 医療法の手続き

医療機関の開設・廃止・変更などの申請、届出について対応している。

表2 医療機関の設置状況

(単位：箇所、床)

区分		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
病院	施設数		10	9	9	9	9
	病床数		1443	1431	1431	1431	1432
診療所	一般	施設数	101	100	96	96	96
		病床数	189	173	161	145	108
	歯科施設数	40	38	37	37	36	
助産所施設数			2	2	2	1	1
施術所施設数			128	127	131	133	133

病床数は全ての病床種別を含む

(5) 医療安全相談窓口

医療に関する相談を受け、相談者への情報提供等実施した。これらの相談内容は県でまとめ、医療機関等へ情報を提供し医療の質の向上を図っている。

平成27年度 相談件数0件

2 難病対策

指定難病患者の医療費軽減を図るため、医療費の公費負担を行っている。

また、スモン患者に対する治療研究の助成や、先天性血液凝固因子障害等患者の医療負担の軽減を図るため、自己負担分について公費負担を行っている。

難病患者療養支援事業として、訪問相談・訪問指導・専門相談・患者家族教室・難病ボランティア学習会・難病療養支援従事者研修等を実施した。

表3 難病相談、教室等の開催状況

区分		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
難病相談件数			12	9	11	11	7	13
交流教室等開催数			13	15	14	14	14	16

交流会 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症…各3回、パーキンソン病…4回、膠原病…1回
網膜色素変性症・炎症性腸疾患…各2回、圏域難病サロン…3回

患者会活動への支援

- ・むつみ会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者家族の会）総会、学習会、交流会を開催
- ・たんぼぼの会（パーキンソン病患者家族の会）総会、役員会、学習会、交流会を開催
- ・はなみずきの会（炎症性腸疾患患者家族会）総会、学習会、食事学習会を開催
- ・膠原病の交流会を島根県支部患者会と協力し開催支援
- ・浜田圏域の難病サロンを、患者有志と難病ボランティアの協力によりH24年3月から開始。
平成27年度は、浜田圏域難病サロン「ほほえみサロン」として年3回開催。

表4 特定医療（指定難病）受給者証の交付状況

(単位：件)

新疾患名	旧疾患名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
001球脊髄性筋萎縮症	48球脊髄性筋萎縮症												0	0		1
002筋萎縮性側索硬化症	08筋萎縮性側索硬化症	8	10	10	10	6	7	7	12	14	14	11	15	17	17	16
003脊髄性筋萎縮症	47脊髄性筋萎縮症												0	2	3	2
004原発性側索硬化症																
005進行性核上性麻痺	20パーキンソン病関連疾患															5
006パーキンソン病	20パーキンソン病関連疾患															8
007大脳皮質基底核変性症	20パーキンソン病関連疾患	101	109	89	109	102	108	109	122	132	128	135	139	138	130	137
008ハンチントン病	23ハンチントン病										1	1	0	0		1
009神経有棘赤血球症																
010シャルコー・マリー・トウース病																1
011重症筋無力症	03重症筋無力症	17	18	18	20	18	21	25	25	26	26	26	26	25	25	24
012先天性筋無力症候群																
013多発性硬化症／視神経脊髄炎	02多発性硬化症	10	11	10	9	8	8	8	8	8	10	12	12	14	13	14
014慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多量性運動ニューロパチ	49慢性炎症性脱髄性多発神経炎											3	5	3	4	5
015封入体筋炎																
016クロー・深癩症候群																
017多系統萎縮症	27多系統萎縮症(シャイ・ドレーガー症候群	1	1	14	15	13	16	12	11	10	12	12	12	16	15	16
018脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	16脊髄小脳変性症	24	28	14	22	24	28	29	29	32	32	30	29	26	26	22
019ライノゾーム病	44ライノゾーム病(ファブリー病を含む)											0	0			
020副腎白質ジストロフィー	45副腎白質ジストロフィー											0	0			
021ミトコンドリア病	52ミトコンドリア病												0	0		
022もやもや病	24モヤモヤ病(ウィルス動脈閉塞症)	4	4	4	4	3	5	5	4	5	4	6	6	8	9	10
023プリオン病	38プリオン病	1	3			1			1	1	1	1	0	0	1	
024亜急性硬化性全脳炎	41亜急性硬化性全脳炎												0	0		
025進行性多量性白質脳症																
026HTLV-1関連脊髄症																1
027特発性基底核石灰化症																
028全身性アミロイドーシス	21アミロイドーシス	1	1	2	2	2	1	1	2	4	3	2	2	1	1	2
029ウルリッヒ病																
030遠位型ミオパチー																
031ベスレムミオパチー																
032自己食気空胞性ミオパチー																
033シュワルツ・ヤンヘル症候群																
034神経線維腫症	40神経線維腫症	1	2	2	1	1	2	2	3	3	4	4	6	4	4	4
035天疱瘡	15天疱瘡	2	3	3	4	3	3	2	3	3	3	4	5	5	5	5
036表皮水疱症	28表皮水疱症(接合部型、栄養障害型)				1							0	0			
037膿疱性乾癬(汎発型)	29膿疱性乾癬	1	1	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2
038ステイヴンス・ジョンソン症候群	54重症多形滲出性紅斑(急性期)												0	0		
039中毒性表皮壊死症													0	0		
040高安動脈炎	13大動脈炎症候群	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	5	5	5
041巨細胞性動脈炎																
042結節性多発動脈炎	11結節性動脈周囲炎	2	2	3	4	2	2	2	1		2	2	4	5	4	1
043顕微鏡的多発血管炎	11結節性動脈周囲炎															3
044多発血管炎性肉芽腫症	25ウェグナー肉芽腫症					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
045好酸球性多発血管炎性肉芽腫症																1
046悪性関節リウマチ	19悪性関節リウマチ	3	4	2	1	1	1	1				1	1	1	2	2
047パーシェー病	14パーシェー病	7	9	9	9	10	11	10	10	10	10	10	8	7	6	7
048原発性抗リン脂質抗体症候群																
049全身性エリテマトーデス	04全身性エリテマトーデス	26	29	28	33	32	34	34	34	33	34	35	36	38	35	36
050皮膚筋炎／多発性筋炎	09強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎															12
051全身性強皮症	09強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	16	22	22	29	28	30	32	36	37	37	35	36	36	26	24
052混合型結合組織病	34混合型結合組織病	8	7	9	11	14	13	11	11	12	13	12	15	14	13	12
053シェーグレン症候群																1
054成人スチル病																
055再発性多発軟骨炎																
056ペーチェット病	01ペーチェット病	5	6	4	4	4	6	6	6	8	11	9	9	7	7	5
057特発性拡張型心筋症	26特発性拡張型(うっ血型)心筋症	9	9	11	16	10	11	10	11	10	11	11	10	11	13	14
058肥大型心筋症	50肥大型心筋症												0	0		
059拘束型心筋症	51拘束型心筋症												0	0		
060再生不良性貧血	06再生不良性貧血	9	13	13	14	15	12	11	9	9	9	9	10	9	10	12
061自己免疫性溶血性貧血																1
062発作性夜間ヘモグロビン尿症																
063特発性血小板減少性紫斑病	10特発性血小板減少性紫斑病	17	27	28	36	34	28	29	29	25	28	24	17	16	19	19
064血栓性血小板減少性紫斑病																
065原発性免疫不全症候群	35原発性免疫不全症候群			2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
066IgA腎症																2
067多発性嚢胞腎																1
068黄色靱帯骨化症	55黄色靱帯骨化症											1	2	3	4	5
069後縦靱帯骨化症	22後縦靱帯骨化症	11	14	15	13	13	16	15	13	17	21	22	19	18	14	16
070広範骨柱管狭窄症	30広範骨柱管狭窄症	2	2	2	2	3	5	5	4	4	5	5	6	8	8	9
071特発性大腿骨頭壊死症	33特発性大腿骨頭壊死症	15	15	12	14	14	15	12	14	16	21	19	18	17	20	18
072下垂体性ADH分泌亢進症	56閉鎖下垂体機能障害											14	17	19	20	2
073下垂体性TSH分泌亢進症	56閉鎖下垂体機能障害															1
074下垂体性PRL分泌亢進症	56閉鎖下垂体機能障害															1
075クッシング病	56閉鎖下垂体機能障害															
076下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	56閉鎖下垂体機能障害															1
077下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	56閉鎖下垂体機能障害															1
078下垂体前葉機能低下症	56閉鎖下垂体機能障害															17
079家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	46家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)												0	0		20
080甲状腺ホルモン不応症																
081先天性副腎皮質酵素欠損症																
082先天性副腎低形成症																
083アジソン病																
084サルコイドーシス	07サルコイドーシス	14	14	11	11	11	10	11	12	13	13	13	16	15	16	15
085特発性間質性肺炎	36特発性間質性肺炎					2	3	3	4	2	6	6	6	3	2	5
086肺動脈性肺高血圧症	39肺動脈性肺高血圧症	1	1	1	1								1	2	2	1
087肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	39肺動脈性肺高血圧症															
088慢性血栓性肺高血圧症	43慢性血栓性肺高血圧症					1		1					0	1	1	2
089リンパ管筋腫症	53リンパ管筋腫症(LAM)												1	1	1	1
090網膜色素変性症	37網膜色素変性症	24	24	22	24	23	24	24	25	25	29	32	29	31	30	28
091バッド・キアリ症候群	42バッド・キアリ症候群						1					0	0			
092特発性門脈圧亢進症																
093原発性胆汁性肝硬変	31原発性胆汁性肝硬変	2	3	4	5	5	8	9	9	13	19	22	29	32	34	35
094原発性硬化性胆管炎																
095自己免疫性肝炎																1
096クローン病	17クローン病	9	9	10	12	12	11	12	13	15	16	16	17	16	16	18
097潰瘍性大腸炎	12潰瘍性大腸炎	41	47	42	49	54	54	57	66	75	83	90	92			

3 結核対策

(1) 結核研修会 (平成28年3月1日 浜田合同庁舎 2階 大会議室)

内容：

- ・報告「浜田保健所管内の結核発生状況」
- ・講話「高齢者入所施設等における結核対策」
浜田保健所長 竹内 俊介

参加者 46名

(2) 学校結核健診

新しく策定された「学校における結核対策マニュアル」に従い、平成25年度から地域の実情に応じた結核対策を実施することとなった。

今後は、学校医による結核精密検査の受診勧奨が可能となるため、結核対策委員会は必要時に開催することとなった。

(3) 啓発活動

結核予防週間期間に医療機関・高齢者施設、市役所に啓発パンフレットを配布し結核に関する理解を深めていただくようにした。

表5 年末の結核登録患者の推移

単位：人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
活動性患者	9	12	9	12	17	15	14	12	9	8
感染性	7	7	3	4	7	5	5	7	1	2
非感染性	0	3	3	3	5	5	9	4	2	5
肺外結核	2	2	3	5	5	5	7	1	6	1
不活動性患者	30	33	35	28	25	30	20	25	26	21
潜在性結核感染症	0	2	3	5	5	18	28	26	18	4
不明者	1	1	1	5	2	2	5	4	0	0
合計	40	48	48	50	49	65	67	67	53	33

潜在性結核感染症は平成19年6月から無症状病原体保有者として届け出と登録が行われている。

表6 年齢別新規登録患者の状況（平成27年）

	5歳未満	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	計
喀痰塗沫陽性肺結核								1		2	3
その他活動性肺結核								2	1	6	9
肺外結核					1		1				2
合計					1		1	3	1	8	14

※潜在性結核感染症を除く

表7 定期健診等の実施状況（平成27年度）

		定期					定期外		計	
		事業者	学校長	施設の長	市町村又は特別区の区長			患者 家族		その他
					乳 児		その他			
					6か月 未満	1歳未満				
ツベ ルク リン 反応	被注射者数 被判定者数 陰性者数 陽性者数	/	/	/	/	/	/	0	0	0
	間接撮影者数	5,362	713	902	/	/	4,790	0	0	11,767
	直接撮影者数	16	1	14	/	/	88	16	34	169
	かくたん検査者数	3	0	0	/	/	0	0	0	3
	IGRA検査者数	/	/	/	/	/	/	13	61	74
被 発 見 者 数	結核患者	0	0	0	/	/	0	1	0	1
	潜在性結核感染症	0	0	0	/	/	0	0	0	0
	結核発病のおそれがあると診断された者	0	0	2	/	/	4	0	2	8

※施設の長：刑事施設を除く

※IGRA検査者欄を追加（H25年度から）

(4)DOTSの実施状況（平成27年）

結核患者の確実な治療の実施は結核対策の基本である。島根県では「島根県地域DOTS実施計画」に基づき、原則としてすべての結核患者に対して服薬確認、服薬サポートを実施している。27年度もこの方針に則って、入院患者以外の抗結核薬服用患者に対してもDOTSを実施した。

- ・DOTS訪問等の内訳（H27年新規結核患者14名）
 - ①週単位の訪問DOTS（訪問週1回以上） 0例
 - ②月単位の訪問（訪問月1～2回）DOTS 3例
 - ③訪問+電話確認（2か月に1回程度の訪問と電話確認） 6例
 - ④電話確認のみ 3例
- ・入院中 0例 ・死亡 2例 ・転出 0例

4 エイズ対策

エイズ予防対策の推進としては、①正しい知識の普及啓発、及び②無料検査による早期発見があげられる。平成27年度は、6月の検査普及週間に夜間・休日検査、7月は浜田駅前でパンフレット配布、12月の世界エイズデーには県立大学でパネル展示やパンフレットの配布、夜間休日検査を行った。また、エイズ出張講座により小中高生への正しい知識の普及に取り組んだ。

表8 エイズ相談、検査の状況

区分 \ 年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
相談件数	38	34	37	46	36
検査件数	37	34	33	45	32

エイズ予防対策の推進としては、①正しい知識の普及啓発、及び②無料検査による早期発見があげられる。27年度は、世界エイズデーキャンペーンとして県立大学でパネル展示やパンフレットの配布を行った。また、エイズ出張講座により小中高生への正しい知識の普及に取り組んだ。

表9 エイズ出張講座の開催状況

種別	回数	人数
高等学校	1	70
中学校	10	627
小学校	1	31
大学	1	12
計	13	740

- ・性感染症・エイズの正しい知識、感染予防について
小学生：「自分を大切に 友達を大切に」
中高生：「自分を生きる 心を生きる」
- ・実施時期 平成27年6月～平成28年2月

5 原爆被爆者対策

「原爆被爆者に対する援護に関する法律」に基づく健康診断の実施と、各種手当の申請手続の処理を行うとともに、浜田圏域の被爆者協議会へ情報提供を行った。

表10 管内被爆者数（平成28年3月31日現在）

	男	女	合計
浜田市	31	129	160
江津市	9	53	62
管内	40	182	222

表11 各種手当の支給状況

	保健手当		健康管理手当	介護手当	葬祭料	医療特別手当
	高額	一般				
支給件数	1	2	210	0	15	3

表12-1 被爆者健康診断の実施状況
定期健康診断(件数)

	前期	後期
一般健診	149	104
肝機能	145	91

表12-2 がん検診（件数）

胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫
4	25	14	10	20	21

6 緩和ケア

27年度は、緩和ケア検討会の実施はできていないが、医療と介護の連携に係る会議の中で、緩和ケアに関する課題整理や多職種連携について具体的な検討、住民啓発の必要性等を検討している。

7 骨髄バンク

27年度は、骨髄バンク推進月間である10月に骨髄バンク普及啓発ポスター・パンフレットを管内高等学校、看護学校、大学専門学校へ配布し普及啓発を行った。

表13 骨髄提供希望者登録数の推移

(単位：人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
骨髄提供登録者数	8	14	6	0	11	2	2	2

8 肝炎対策

(1) 肝炎治療費助成事業

国内最大級の感染症であるB型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎は、抗ウイルス治療により、その後の肝硬変、肝がんとした重篤な病態を防ぐことができる。しかし、この抗ウイルス治療が高額であることから、早期治療の促進のため抗ウイルス治療にかかる医療費の助成を平成20年度から行っている。

表 肝炎治療費助成申請

区分 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新規申請（C型肝炎）	59	40	44	56	66	227
新規申請（B型肝炎）	56	8	10	15	13	10
更新申請（B型肝炎）		50	51	65	71	75
計	115	98	105	136	150	312

(2) 肝炎ウイルス検査

毎月、第2、4火曜日にH I V抗体検査と同日に受付をし実施している。

平成27年7月の肝臓週間には、神楽フェスタにおいてパンフレット等を配布し検査の普及を行った。

表 肝炎ウイルス検査件数、相談件数

区分 \ 年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
相談件数	5	1	8	23	19
検査件数	3	9	5	16	11

(3) 肝がん等重症化予防事業

肝炎ウイルス検査において発見されたウイルス陽性者を早期治療につなげ重症化を予防するため、26年度から初回精密検査費用助成事業及び肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業が開始された。

① 初回精密検査費用助成

陽性者が、指定の医療機関で初回精密検査を受けた際の医療費の自己負担額を助成
申請件数 8 件

② 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

フォローアップをすることの同意が得られた陽性者に対し、医療機関の受診状況等を確認。未受診の場合受診勧奨をする。

申請件数 2 件

《衛生指導課》《食品衛生機動監視課》

1 薬事対策（衛生指導課）

(1) 薬事監視指導の実施

医薬品の適正管理や情報提供等に対する薬剤師や登録販売者の果たす役割の重要性が高まっている。このことから、薬局及び医薬品販売業において薬剤師等による実地の管理状況の把握を重点に監視指導を実施した。また、毒薬等の適正な保管管理等の徹底について指導した。

表1 薬事関係施設の設置、監視指導状況（平成28年3月31日現在）

区 分	営業 施設数	新規 許可 施設数	廃止 届出 施設数	立入 検査 施設数	違反 発見 施設数	監視率 (%)
薬 局	55	3	1	29	0	52.7
医薬品販売業	38	5	2	10	0	26.0
卸 売	10	3	0	5	0	50.0
薬種商	1	0	0	1	0	100.0
店舗販売業	22	2	2	4	0	18.2
特 例	0	0	0	0	0	0.0
配 置	5	0	0	0	0	0.0
高度管理医療機器等販売・貸与業	68	3	0	29	0	33.8
管理医療機器販売・貸与業	176	11	4	0	0	6.0
計	337	22	7	68	0	21.0

(2) 毒物・劇物監視の実施

農薬危害防止月間（6月1日～8月31日）を中心に、各登録施設に対し毒物・劇物の譲渡手続き、保管管理状況等について重点的に監視を行った。

表2 毒物劇物関係施設の設置、監視指導状況（平成28年3月31日現在）

業 態	営業 施設数	新規許可 施設数	廃止届出 施設数	立入検査 施設数	違反発見 施設数	監視率 (%)
一般販売業	56	3	1	13	0	23.0
農業用品目販売業	20	1	0	5	0	25.0
特定品目販売業	2	0	0	0	0	0.0
計	78	4	1	18	0	23.0

2 薬物乱用防止対策（衛生指導課）

「麻薬・覚せい剤乱用防止運動（10月～11月）」期間を中心に麻薬取扱い施設へ立ち入りし、麻薬の保管管理、帳簿等の記録について指導を実施した。

「6.26 ヤング街頭キャンペーン」を実施し、薬物の乱用防止を呼びかけた。また、管内高校1校から薬物乱用教室開催の依頼を受け、島根県薬物乱用防止講師紹介制度を活用し、講師を紹介した。

表3 麻薬業務所への監視指導状況（平成28年3月31日現在）

業 態	施設数	立入検査施設数	違反発見施設数	監視率（%）
麻薬診療施設	53	22	0	41.5
病 院	9	13	0	144.0
一般診療所	40	9	0	22.5
歯科診療所	0	0	0	0.0
飼育動物診療施設	4	0	0	0.0
麻薬小売業者	52	28	0	53.9
麻薬卸売業者	3	2	0	66.7
麻薬研究者	1	0	0	0.0
計	109	52	0	47.7

3 献血の推進（衛生指導課）

平成28年度の管内の献血目標は、400ml 献血で1,936人であったが、実績は1,800人（93.0%）であった。

表4 献血状況（平成28年3月31日現在）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
200ml 献血	—	—	—	—	—	—
400ml 献血	1,783	1,620	1,611	1,866	1,923	1,800
成分献血	—	—	—	—	—	—
計	1,783	1,620	1,611	1,866	1,923	1,800

（単位：人）

4 食品衛生対策（衛生指導課）（食品衛生機動監視課）

（1）食品衛生監視指導の状況

県の監視指導計画に基づき、計画的・効率的な監視指導を実施した。また、平成27年4月1日に食品衛生法施行条例が改正され、HACCPの概念を取り入れた「危害分析重要管理点方式」による基準が導入されたため、製造業施設に立入し、HACCPの普及・啓発を行った。

さらに、県内の学校寮において腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒が発生したため、管内全ての学校寮に対し、食中毒予防の監視指導を実施した。

表5-1 食品営業施設に対する指導実績（許可施設；平成28年3月31日現在）

		施設数	監視指導回数	行政処分
飲食店営業	一般食堂・レストラン等	573	161	0
	仕出し屋・弁当屋	104	125	0
	旅館	52	66	0
	その他	107	48	0
菓子製造業		122	40	0
乳処理業		1	5	0
特別牛乳さく取処理業		0	0	0
乳製品製造業		1	3	0
集乳業		0	0	0
魚介類販売業		185	144	0
魚介類せり売営業		3	1	0
魚肉ねり製品製造業		8	6	0
食品の冷凍又は冷蔵業		11	64	0
かん詰又はびん詰食品製造業		2	2	0
喫茶店営業		144	47	0
あん類製造業		1	1	0
アイスクリーム類製造業		16	10	1
乳類販売業		186	136	0
食肉処理業		13	15	0
食肉販売業		149	105	0
食肉製品製造業		1	1	0
乳酸菌飲料製造業		0	0	0
食用油脂製造業		1	1	0
マーガリン又はショートニング製造業		0	0	0
みそ製造業		13	3	0
醤油製造業		6	2	0
ソース類製造業		6	3	0
酒類製造業		6	3	0
豆腐製造業		9	3	0
納豆製造業		0	0	0
めん類製造業		5	0	0
そうざい製造業		66	94	0
添加物製造業		2	2	0
食品の放射線照射業		0	0	0
清涼飲料水製造業		9	11	0
氷雪製造業		6	1	0
氷雪販売業		0	0	0
計		1,808	1,065	1

(単位：件)

表5-2 食品営業施設に対する指導実績（許可不要施設；平成28年3月31日現在）

		施設数	監視指導回数	行政処分
給食施設	学 校	13	7	0
	病院・診療所	10	10	0
	事 業 所	8	0	0
	そ の 他	97	10	0
乳さく取業		6	0	0
食品製造業		149	14	0
野菜・果実販売業		167	134	0
そうざい販売業		191	138	0
菓子（パンを含む）販売業		192	146	0
食品販売業（上記以外）		397	150	0
添加物の製造業		0	0	0
添加物の販売業		34	17	0
氷雪採取業		0	0	0
器具・容器包装・おもちゃ製造又は販売業		23	16	0
計		1,287	642	0

（単位：件）

（2）食中毒の発生状況

平成23年度から平成26年度にかけて、管内で毎年度食中毒の発生があったが、平成27年度は、食中毒の発生はなかった。

表6 食中毒の発生状況（平成23年度～平成27年度）

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
発 生 件 数		4	1	2	1	0
患 者 数		434	33	16	5	0
内 訳	サルモネラ	0	0	9	0	0
	ノロウイルス	434	33	0	0	0
	カンピロバクター	0	0	7	5	0
原 因 施 設 数		3	1	2	1	0

（単位：件）

（3）食品検査の状況

食品衛生法に基づく規格基準違反の発見や不良食品の排除など、食品の安全性を確保するため、管内で製造される食品を中心に収去検査を実施した。その結果、アイスマルクとミネラルウォーターの規格基準違反（アイスマルク：大腸菌群陽性、ミネラルウォーター：フッ素の基準逸脱）が判明したため、指導を行った。

また、各種衛生規範に基づく指導に資するための収去を行い、安全性の向上を図った。

表 7-1 食品等収去検査の実施状況（乳及び乳製品以外の食品、添加物、おもちゃ；平成 28 年 3 月 31 日現在）

		収去検体数	不良検体数	不良理由
魚介類		0	0	
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	0	0	
	冷凍直前に加熱された加熱後摂取冷凍品	0	0	
	冷凍直前未加熱の加熱後摂取冷凍品	0	0	
	生食用冷凍鮮魚介類	0	0	
魚介類加工品（缶詰、瓶詰を除く）		7	0	
肉卵類及びその加工品		2	0	
乳製品		0	0	
乳類加工品（アイスクリーム、マーガリン類を除く）		0	0	
アイスクリーム類・氷菓		4	1	大腸菌群 陽性
穀類及びその加工品		12	1	細菌数衛生規範逸脱
野菜類・果物及びその加工品		31	0	
菓子類		1	0	
清涼飲料水		3	2	フッ素基準逸脱
酒精飲料		0	0	
冰雪		0	0	
水		0	0	
缶詰・瓶詰食品		0	0	
その他食品		1	0	
添加物	化学的合成品及びその製剤	0	0	
	その他の添加物	0	0	
器具及び容器包装		0	0	
おもちゃ		0	0	
計		61	4	

（単位：件）

表 7-2 乳及び乳製品（乳及び乳製品の成分規格の定めのある事項に関する検査；平成 28 年 3 月 31 日現在）

		収去検体数	不良検体数	不良理由
生乳		0	0	
牛乳		1	0	
部分脱脂乳		0	0	
加工乳	乳脂肪分 3%以上	0	0	
	乳脂肪分 3%以下	0	0	
その他の乳		0	0	
計		1	0	

（単位：件）

(4) 普及啓発活動の推進

講習会の開催を通じて食品衛生への関心を高めた。具体的には、営業者に対して食中毒予防の啓発、食品表示の適正化、食品衛生に関する最近の話題等を内容にして開催した。また、食品衛生月間事業（8月）として、幼稚園児及び保育園児に対する手洗い指導を行った。

食品衛生推進員事業では、旅館、弁当調製施設等に対する食中毒発生防止のための点検及び食品表示の適正化を目的とした食品販売店の点検を実施した。

表8 食品衛生講習会開催状況（平成28年3月31日現在）

対象者	開催回数	参加者数
食品営業者	37	910
上記以外の者	17	1,067

（単位：回、人）

表9 食品衛生推進員による点検状況（平成28年3月31日現在）

実施期間	対象業種	主な点検・助言内容	対象施設数
7月～12月	飲食店営業（一般食堂・旅館・仕出し屋・弁当屋）	施設の衛生管理	121
	農産加工品製造業・食品販売業	食品の表示	174

（単位：箇所）

(5) 食品表示の適性化

平成27年4月1日に食品表示法が施行され、これに伴い県下の食品表示の相談窓口が各保健所に一元化された。平成27年度の食品表示相談件数は113件であった。また、平成27年10月に、管内営業者が製造する穴子加工品の産地に関する不適正表示を確認したため、当該営業者に対し改善の指示を行った。

5 感染症対策（衛生指導課）

感染症発生時には、まん延防止を図るため迅速な患者の把握、原因究明等の疫学調査を行い、適切な医療が図られるように努めた。また、管内の社会福祉施設等からの相談事例について、個別に助言や指導するなどまん延・再発防止対策の強化を支援した。

表10 感染症（全数把握疾患）の発生状況（平成28年3月31日現在）

年度	一類	二類	三類	四類	五類
23	なし	結核(36)	なし	なし	アメーバ赤痢(1)
24	なし	結核(14)	腸管出血性大腸菌感染症(1)	なし	なし
25	なし	結核(18)	なし	A型肝炎(1)、重症熱性血小板減少症候群(1)、レジオネラ症(1)	アメーバ赤痢(2)、破傷風(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(1)

26	なし	結核 (15)	なし	A型肝炎(3)、レジオネラ症(1)、 ウイルス性肝炎(1)	梅毒(1)
27	なし	結核 (12)	なし	日本紅斑熱 (2)	梅毒 (2) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 (1)

() の数字は発生件数

6 動物管理対策 (衛生指導課)

近年、登録頭数の減少傾向が強まっている。また、登録数に係る狂犬病予防注射接種率(狂犬病予防注射頭数/登録頭数)は横ばいが続いている。

犬の収容頭数は平成25年度に大幅に減少し、それ以後平成27年度までほぼ横ばいが続いている。猫の収容頭数は平成25年度以後減少傾向がある。

また、犬の移送・処分数は近年減少傾向があったが、平成27年度は譲渡に適した犬が少なかったため増加に転じた。猫の移送・処分数は平成25年度に大幅に減少し、平成27年度もさらに減少した。

表11 狂犬病予防・動物愛護管理業務の状況

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
新規登録件数		423	349	267	247	282	
登録頭数		5,415	5,166	4,977	4,767	4,437	
狂犬病予防注射実施頭数		4,533	4,237	4,099	4,037	3,810	
犬死亡届出件数		566	584	435	440	612	
収容頭数	犬	捕獲	40	53	28	22	26
		所有者不明	24	29	18	31	21
		所有者からの引取	78	36	16	9	19
		負傷収容	1	2	1	1	0
	猫	所有者不明	49	152	55	59	54
		所有者からの引取	56	54	92	81	55
負傷収容		13	24	17	13	12	
返還	犬	20	28	24	24	20	
	猫	0	0	0	1	0	
譲渡	犬	35	66	24	20	7	
	猫	17	10	23	12	11	
移送・ 処分	犬	85	27	17	14	45	
	猫	97	221	139	140	101	
咬傷被害件数		12	7	9	7	7	
	登録犬	11	6	9	6	5	
	飼犬(未登録)	0	0	0	1	1	
	その他	1	1	0	0	1	
苦情処理等件数		117	155	145	162	122	
犬のしつけ方、愛護教室開催		2	2	3	0	1	

(単位：件、頭、回)

表 12 動物取扱業者の登録状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	販売	保管	貸出	訓練	展示	延べ施設数（実施設数）
施設数	7	11	0	1	2	21（18）

（単位：件）

7 環境衛生対策（衛生指導課）

（1）生活衛生関係営業施設の衛生確保

前年度に公衆浴場 1 施設の浴槽水からレジオネラ属菌が検出されたことを受け、平成 27 年度も公衆浴場及び旅館に対して指導を行った。また、その他の生活衛生関係営業施設についても、衛生管理等についての指導を行った。

表 13 生活衛生関係営業施設の設置、監視指導状況

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
旅館	122	117	108	110	107
監視指導施設数	7	23	26	20	20
興業場	7	7	7	7	8
監視指導施設数	0	4	2	1	10
公衆浴場	34	33	29	32	35
監視指導施設数	8	30	6	5	7
理容所	139	137	136	134	122
監視指導施設数	1	1	2	0	7
美容所	207	209	213	213	208
監視指導施設数	0	12	7	4	6
クリーニング所	125	126	96	91	75
監視指導施設数	0	26	1	1	2
計	634	629	589	587	555

（単位：箇所）

（2）水道施設の衛生確保

水道水の安全確保を図るため、施設や水質管理が適正に維持管理されるよう助言、指導を行うとともに、水道水質の異常、飲料水による健康被害等の発生時における危機管理体制の整備に努めた。

平成 28 年 1 月に江津市及び浜田市において、寒波による水道管破裂に伴う給水停止があったため各市災害対策本部において状況把握に努めた。

表 14 水道施設の立入状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

事業区分	浜田市			江津市		
	事業数	立入件数	水質検査異常報告件数	事業数	立入件数	水質検査異常報告件数
上水道	1	1	0	1	1	0
簡易水道	8	8	0	3	3	0
その他	0	0	0	4	4	0
計	9	9	0	8	8	0

（単位：件）

（3）温泉施設等の衛生確保

近年、施設数に大きな変動はない。

平成 26 年度は公衆浴場 1 施設（温泉利用施設）からレジオネラ属菌が検出されたことを受け、管内の各公衆浴場の立ち入り調査を実施した。

表 15 泉源・温泉利用施設の設置、指導状況

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
泉 源	41	42	41	42	42
温泉利用施設	41	39	39	39	43
立入検査回数	9	29	29	43	13

（単位：件）

《環境保全課》

1 環境保全対策

(1) 環境基本計画推進、普及啓発事業

住民、事業者、行政の各主体が連携して自主的かつ積極的に行動する環境保全活動を支援するため、環境情報コーナーを設けて情報の提供を行うとともに、環境活動・学習に取り組む団体等を対象に貸し出しを行う目的で、環境学習用貸出機材約70品目を整備している。

(2) 三隅発電所周辺環境対策

中国電力三隅火力発電所周辺における住民の健康保護と生活環境及び自然環境の保護のため、県、浜田市（旧三隅町）及び事業者の三者で「環境保全に関する協定書」を交わしている。

県は平成10年6月に設置した「三隅発電所周辺環境対策連絡協議会」において、中国電力が行った周辺環境調査結果を評価・公表し、浜田市を通じて地域住民への周知を図っている。当保健所はその協議会の事務局として各種調整を行った。また、県が行う三隅発電所周辺環境調査のサンプリングを、浜田合庁、浜田市三隅支所において2回行った（9月、1月）。

(3) 大気汚染防止対策

①一般環境監視

県では「島根県大気汚染常時監視テレメータシステム」により、一般環境大気測定局と自動車排ガス測定局等を設置し、大気環境の状況把握を行っている。

当保健所管内では、一般環境大気測定局（2地点）において常時監視を行っている。

なお、浜田自動車排ガス測定局については平成25年3月末で測定を終了した。

常時監視の結果、光化学オキシダントについては春季に濃度上昇が見られたものの、「県大気汚染緊急時対策要綱」に規定する注意報及び警報の発令には至らなかった。また、微小粒子状物質（PM2.5）については、国が示した「注意喚起のための暫定的な指針」に基づき「島根県微小粒子状物質（PM2.5）に係る注意喚起実施要領」を定めて濃度上昇時の対応を行ったが、注意喚起の実施には至らなかった。

また、フッ素による大気汚染状況を把握するための調査を江津市の3地点において毎月1回行った。

さらに、保健環境科学研究所が行う微小粒子状物質（PM2.5）の成分分析のために、試料のサンプリングを浜田合庁において春夏秋冬の年4回行った。

表1 大気汚染の監視状況

区 分	測定地点	測定項目及び測定方法	回 数
一般環境大気 測定局	浜田合庁(1地点) 江津市役所(1地点)	二酸化硫黄(紫外線蛍光法) 窒素酸化物(化学発光法) オキシダント(紫外線吸光法) 浮遊粒子状物質(ベータ線吸収法) 微小粒子状物質(PM2.5)(ベータ線吸収法) 風向・風速、温度・湿度 【保守管理は外部委託】	自動監視
微小粒子状物 質(PM2.5) 成分分析調査	浜田合庁(1地点)	イオン成分(イオンクロマトグラフ法) 無機元素成分(ICP-MS法) 炭素成分(TOR法)	年4回
大気汚染有害 物質環境監視	江津市(3地点) ・ 県立江津高校 ・ 旧丸八裏 ・ ポリテクカレッジ 島根	フッ素化合物(LTP法)	月1回
三隅発電所 周辺環境調査	浜田合庁(1地点) 浜田市三隅支所 (1地点)	浮遊粉じん 重金属類9物質(HVA法) 水銀(金アマルガム捕集法)	年2回 ・ 暖房期 ・ 非暖房期
酸性雨環境 影響調査 (降水監視調査)	江津市役所(1地点)	酸性雨自動採取装置による降水の採取 ・ 分析(保健環境科学研究所)	月2回

②大気汚染発生源監視

大気汚染防止法で規定するばい煙発生施設および粉じん発生施設の設置状況について、前年度末に比べてばい煙発生施設は2施設増加し、粉じん発生施設は4施設増加した。

アスベスト(石綿)による健康被害の顕在化、社会問題化により、平成18年2月に大気汚染防止法等が改正され、全ての石綿除去作業が届出義務化された。特定粉じん(アスベスト)排出等作業実施の届出は5件あり適切に作業が

行われるよう、監視・指導を行った。

表2 ばい煙発生施設等の届出状況 (平成27年度末)

	施設数	事業場数	主な施設
ばい煙発生施設数	149	100	ボイラー、焼成炉、焼却炉
粉じん発生施設数	144	23	堆積場、破砕機、ベルトコンベア
県条例ばい煙特定施設	21	9	焼結炉、焼成炉

(4) 水質保全対策

①環境基準監視（公共用水域・地下水）

水質環境基準監視調査を浜田川の4地点（河内大橋、清水橋、亀山橋、河口）で毎月行った。

海水浴場の遊泳適否調査を、波子、国府、田の浦、石見海浜公園、黒松の各海水浴場で2地点、浅利、折居海水浴場では1地点で行ったが、結果はいずれもAランク以上であり遊泳に適していた。

地下水に関しては、浜田市の1地点で井戸水の調査を実施したが、結果は地下水環境基準値を満たしていた。なお、昨年度から測定項目にPCBが追加されている。

表3 公共用水域の水質環境基準等監視調査

水域名		指定類型	調査地点名	調査項目	調査回数
浜田川	上流	河川A A	河内大橋	生活環境項目, その他項目	12回
	—	—	清水橋		12回
	下流	河川A	亀山橋		健康項目
			河口	生活環境項目, その他項目	12回
江の川河口海域 ※	海域A	G-1,G-2,G-3 (表-深層)	生活環境項目, その他項目, 油分	6回	健康項目(G-1) 2回: 6, 12月
浜田川河口海域 ※	海域A	H-1,H-2,H-3 (表-深層)	生活環境項目, その他項目, 油分	6回	健康項目(H-1) 2回: 6, 12月
波子・国分・田の 浦海水浴場 ※	海域A	各2地点	生活環境項目, その他項目, 油分	6回	健康項目(IW-1,IW-3,IW-5) 2回: 6, 12月

※河口海域・海水浴場海域の水質環境基準監視調査の採水、分析は外部委託

表4 海水浴場遊泳適否調査

区分	海水浴場名	地点数	調査時期・実施期間	調査回数	調査・分析項目
主要	波子(江津市)	2	遊泳期間前	2期間	気温,水温,波高,色相,臭気,透明度,油膜,pH,EC,COD,ふん便性大腸菌群数,病原性大腸菌O-157 (遊泳期間中1回のみ)
	国府(浜田市)	2	(4月中旬～5月下旬)	1期間2日	
	田の浦(浜田市)	2	遊泳期間中	1日2回(AM・PM)	
	石見海浜公園(浜田市)	2	(7月中旬～8月初旬)		
その他の	黒松(江津市)	1	遊泳期間前	1期間	気温,水温,波高,色相,臭気,透明度,油膜,pH,EC,COD,ふん便性大腸菌群数
	浅利(江津市)	1	(4月中旬～5月下旬)	1期間2日	
	折居(浜田市)	1		1日2回(AM・PM)	

②排水基準監視

工場・事業場の排水対策については、水質汚濁防止法の規制対象事業場を中心とした立入検査等により、規制基準の遵守及び処理施設の適正な管理や届出に関する指導を行った。

「水質汚濁防止法」及び島根県公害防止条例に規定する平成27年度末の特定事業場数は、平成26年度末から4つ減少した。

表5 管内の水質汚濁防止法に基づく特定施設数 (平成27年度末)

	浜田市	江津市	計
届出特定施設数	425	153	578
法排水基準対象施設数	(43)	(16)	(59)
特定施設立入検査数	31	11	42

③ゴルフ場の農薬等流出実態調査

ゴルフ場から流出される農薬等の流出実態を把握するため、27年度も管内のゴルフ場において排水中の農薬および窒素、リンの調査を行った。農薬の分析結果は、いずれも環境省が示した暫定指導指針に適合していた。

④水質事故対策

車両からの油流出等を原因とする水質事故が8件発生した。

(5) 土壌汚染対策

土壌汚染対策法(平成15年2月施行)第4条に基づく土地の形質変更に係る届出23件についての審査を行ったほか、各種届出該当の事業場等に対し

て法の適切な運用が行われるよう必要に応じて指導等を実施した。

(6) ダイオキシン類対策

浜田合庁及び江津市の大気測定局の2地点で、大気中のダイオキシン類測定を4回行ったが、いずれも環境基準を満足していた。

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく平成27年度末の特定施設設置数は、大気基準適用施設が平成26年度末から1施設減少し、水質基準適用施設は平成26年度末と同じであった。

また、管内の3施設に対して立入検査を行い、うち1施設で水質排出基準に係るダイオキシン類測定を行った。

表6 管内のダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設数（平成27年度末）

	届出施設数	届出事業者数	立入検査数
大気基準適用施設	13	12	2
水質基準適用施設	2	2	1
計	15	14	3

(7) 公害苦情処理

平成27年度は6件の苦情があり、浜田市や江津市他関係機関と連携した現地調査等によって、関係者に対しての指導及び助言を行った。

公害苦情は法規制のみでは解決が難しい問題が多いので、環境保全に関する理解と当事者相互の協力を求め、迅速な解決に努めた。

2 廃棄物処理対策

(1) 廃棄物減量化および循環利用対策

① エコショップ認定制度の推進

ごみの減量化・資源化及び再生利用に努めている、エコショップ及びゴールドエコショップ（エコショップ優良店）の認定店は平成27年度末で24店舗あり、増減はなかった。

② 自動車リサイクル法に基づく使用済み自動車の適正処理指導

「自動車リサイクル法」（使用済み自動車の再資源化等に関する法律）に関して事業者の登録数は、使用済み自動車の引取業者は平成27年度末35事業者、フロン類回収業者は平成27年度末5事業者、解体業者の許可状況は、平成27年度末2事業者と、いずれも増減はなかった。

また、他業務の都合により、立入検査は実施しなかった。

(2) 一般廃棄物対策

①一般廃棄物処理施設の適正管理

「廃棄物処理法」に規定する一般廃棄物処理施設は、平成27年度中の増減はなく、16施設であった。このうち、4施設に立入検査を行い、排水基準や水処理に関する指導等を3件行った。

表7 管内の一般廃棄物処理施設数（平成27年度末）

し尿処理施設	2
コミュニティプラント	3
焼却施設	2
最終処分場	3
中間処理施設	4
不燃物処理施設	2
計	16

③ 海岸漂着廃棄物対策

平成27年度は、『強酸性等の液体が入ったドラム缶やポリタンク等が管内の海岸に漂着した』との相談や情報提供はなく、県保健環境科学研究所への分析依頼も行わなかった。

(3) 産業廃棄物対策

①PCB廃棄物の適正保管

「PCB特措法」に規定するPCB廃棄物保管等事業場は、JESCOへの搬入処理等により2事業場が減少。平成27年度中に新たに発見された事案1件を加え、27年度末で39事業場となった。

立入検査等を通じて、早期処理及び適正保管に関する助言、指導を継続する。

②産業廃棄物の適正処理

「廃棄物処理法」に規定する平成27年度末の産業廃棄物処理業者は141業者であり、平成26年度末と同数であった。このうち、8業者に立入検査を行い、保管基準、処分基準等に関する指導を5件行った。

産業廃棄物処理施設は21施設あり、平成26年度末より破碎施設が1減となった。このうち、7施設に立入検査を行い、2施設に対して指導を行った。ほかに、ミニ処分場が平成27年度末で2施設ある。

また、排出事業者への立入検査を47件行った。

表8 産業廃棄物処理業者数 (平成27年度末)

産業廃棄物収集運搬業者	111
特別管理産業廃棄物収集運搬業者	6
産業廃棄物処分業者	23
特別管理産業廃棄物処分業者	1
計	141

表9 管内の産業廃棄物処理施設数 (平成27年度末)

焼却施設	1	
破碎施設	16	
最終処分場	4	ミニ処分場※2施設
計	21	

※昭和52年以前に設置された安定型最終処分場もしくは平成9年以前に設置された面積3,000㎡未満の小規模な安定型処分場で設置許可対象外の施設

③不法投棄等対策

平成17年度から配置された廃棄物監視専門員によるパトロール及び、管内に設置した監視カメラにより不法投棄防止を図った。

廃棄物の不法投棄の発生・再発防止を強化するため、重点監視地域を指定。地域住民2名を監視モニターに委嘱してパトロールを行い、不法投棄されにくい環境作りに取り組んでいる。

27年度は江津市跡市町地内(市道上大久保線、市道トチノコ山線)を重点監視地域に指定。パトロールを実施するとともに、啓発看板の設置等を行った。

3 浄化槽対策

「浄化槽法」に規定する浄化槽の設置基数は平成26年度に202基の新設があり、平成27年度末で15,332基となっている。

法定検査で不適正とされた浄化槽9基の立入検査を行ったが、3基について処理目標水質を超過しており、浄化槽管理者に対して維持管理等の指導を行った。

浄化槽の適正な維持管理を推進するため、(公社)島根県浄化槽普及管理センターと(一社)島根県浄化槽協会の共催で浄化槽設置者講習会が開催され、浜田保健所から講師を派遣した。

島根県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例に基づく、管内の保守点検業者は15業者であり、増減はなかった。

表10 管内の浄化槽設置基数 (平成27年度末)

	浜田市	江津市	計
単独処理	7,340	3,254	10,594
合併処理	3,322	1,416	4,738
新設	(152)	(50)	(202)
合計	10,662	4,670	15,332

4 建築物衛生確保、衛生害虫対策

届出のある特定建築物は25施設で、平成27年度中の増減はなかった。

管内のビル管理業登録事業者は11業者であり、平成27年度中の増減はなかった。

ハチやマダニ等についての相談があり、駆除方法の指導等を行った。

表11 管内の特定建築物 (平成27年度末)

施設の種類	興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他	計
施設の数	4	4	2	5	2	3	5	25

表12 管内のビル管理業登録事業者数 (平成27年度末)

建築物飲料水貯水槽清掃業者	5
建築物環境衛生総合管理者	1
建築物ねずみこん虫等防除業	4
建築物清掃業	1

《検査課》

検査課は県央、浜田、益田保健所管内の感染症対策、食品衛生対策、環境衛生及び環境保全対策に係る検査を実施している。

1 感染症に関する検査

3類感染症の腸管出血性大腸菌感染症（O157）について益田保健所依頼分5事例延べ303検体を検査した。

その他、ノロウイルス感染症について、浜田保健所管内1事例で調査があったが細菌検査は実施しなかった。

HIV検査については、平成18年度から即日迅速検査を実施しており、平成27年度は35件実施した（表1）。

表1 感染症に関する検査の実施状況

区 分		年 度				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2類感染症(結核を除く)	培養	0	0	0	0	0
3類感染症	培養	10	9	129	22	303
H I V		37	40	40	40	35

2 食品衛生関係等の検査

食品の収去検査は県央、浜田、益田保健所管内から収去された食品83検体の細菌学検査を実施した(表2)。保健所別の内訳は浜田44検体、県央11検体、益田28検体となっている(表3)。

食中毒の発生及び関連した検査（6事例）について、拭き取り、食材、有症者等の検便299検体について、原因究明のための検査を実施した(表4)。

なお、食品に関する苦情・衛生指導等に係る行政検査の対応はなかった。(表5)。

表2 収去食品検査の実施状況

区 分		年 度				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数		80	105	136	126	83
細菌検査	一般細菌数	62	58	100	94	72
	大腸菌群	37	60	66	38	21
	サルモネラ属菌	0	0	0	0	0
	黄色ブドウ球菌	38	39	70	87	66
	腸管出血性大腸菌O157	0	0	0	0	0
	そ の 他	28	69	88	83	62
	計	165	226	324	302	221

表3 平成27年度保健所別収去食品検査の実施状況

		浜田保健所	県央保健所	益田保健所
		44	11	28
細菌検査	一般細菌数	37	7	28
	大腸菌群	12	9	0
	サルモネラ属菌	0	0	0
	黄色ブドウ球菌	32	6	28
	腸管出血性大腸菌O157	0	0	0
	E. coli	32	2	28
	乳酸菌	0	0	0
	恒温細菌	0	0	0
	クロストリジウム	0	0	0
	腸炎ビブリオ	0	0	0
	計	113	24	84

表4 食中毒(疑いを含む)検査の実施状況

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
検体数	133	51	159	60	* 299

※検査は、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、病原性大腸菌、赤痢菌、コレラ菌、セレウス菌、カンピロバクター、ウェルシュ菌、エルシニア、エロモナス、プレシオモナス、腸管出血性大腸菌等の検査を実施した。

* 益田保健所管内のO157集団発生事例を含む。

表5 その他(食品に関する苦情・衛生指導等に係る行政検査等)

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
検体数	0	83	0	0	0

3 環境衛生関係検査

大気汚染関係の検査として、窯業所周辺の環境大気中フッ素化合物について 60 検体（浜田・県央保健所から依頼分）検査を実施した（表 5, 6）。水質検査は、公共用水域等の環境基準水質測定地点（浜田・益田・県央保健所管内）で採水された 259 検体（表 7）、事業場排水及び浄化槽放流水（浜田・益田・県央保健所から依頼）について 130 検体（表 8）、また、その他検体（苦情・事故等を含む）について 11 検体を検査した（表 5, 8）。

表 5 環境衛生関係調査(項目合計)の推移 ()内は検体数

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大気汚染関係	65(65)	60(60)	60(60)	60(60)	60(60)
水質関係	1,764(392)	1,930(429)	1,828(415)	1,756(389)	1,770(389)
その他(苦情事故等含む)	24(12)	32(16)	29(13)	48(10)	34(11)

表 6 平成27年度 環境大気中フッ素化合物濃度調査の実施状況

	浜田保健所	県央保健所
検体数	36	24
項目数	36	24

表 7 平成27年度 公共用水域等水質検査の実施状況

	合 計			浜田保健所			益田保健所			県央保健所			
	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	
総検体数	133	2	124	48	1	80	61		16	24	1	28	
一般項目	pH	131	2	124	48	1	80	59		16	24	1	28
	DO	120			48			48			24		
	BOD	120			48			48			24		
	COD			124			80			16			28
	SS	125			48			53			24		
	n-ヘキサン												
その他	大腸菌群	40			16			16			8		
	電気伝導度	133	2	124	48	1	80	61		16	24	1	28
	糞便性大腸菌			124			80			16			28
	病原性大腸菌			10			8			2			
合 計	669	4	506	256	2	328	285	0	66	128	2	112	

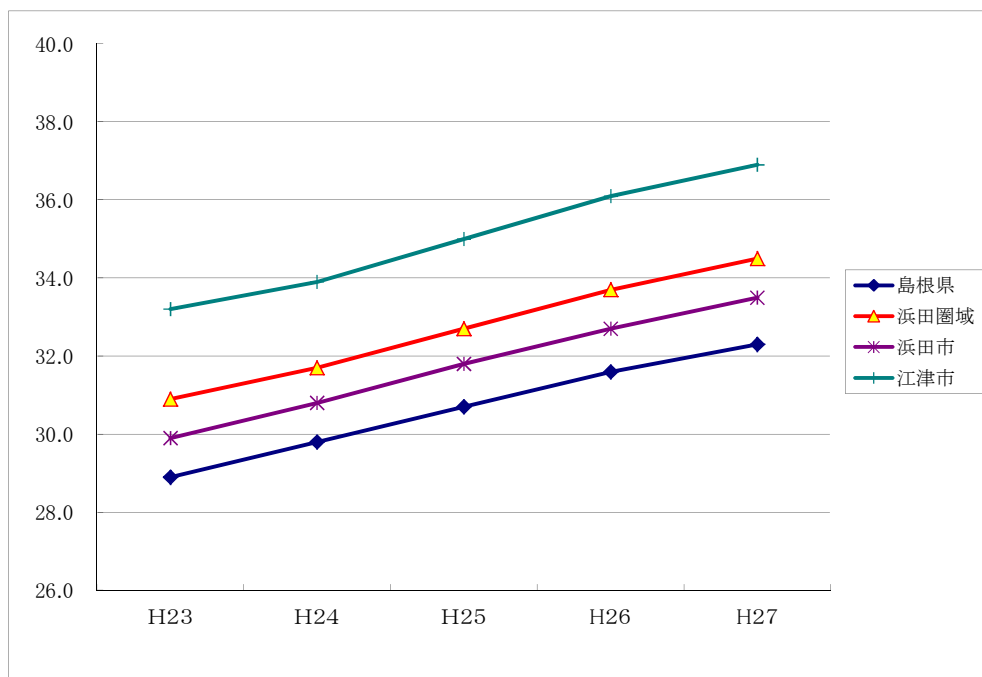
表 8 平成27年度 事業場排水、浄化槽放流水及びその他の水質検査の実施状況

	合 計			浜田保健所			益田保健所			県央保健所		
	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他
総検体数	103	27	11	45	7	11	34	15		24	5	
一般項目	pH	103	27	11	45	7	11	34	15		24	5
	DO											
	BOD	82	27	4	33	7	4	27	15		22	5
	COD	11			7			2			2	
	SS	97		4	40		4	33			24	
	n-ヘキサン	32			16			7			9	
その他	大腸菌群	82		4	37		4	27			18	
	電気伝導度	103	27	11	45	7	11	34	15		24	5
	糞便性大腸菌											
	病原性大腸菌											
簡易検査												
合 計	510	81	34	223	21	34	164	45	0	123	15	0

資料編

◇浜田圏域の高齢化率と推計人口

◇高齢化率の推移



(単位: %)

区分	島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
H23	28.9	30.9	29.9	33.2
H24	29.8	31.7	30.8	33.9
H25	30.7	32.7	31.8	35.0
H26	31.6	33.7	32.7	36.1
H27	32.3	34.5	33.5	36.9

◇H27. 10. 1現在の推計人口

区分	島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
総人口	691,931	82,629	58,562	24,067
15歳未満	87,438	9,426	6,675	2,751
15～64歳	377,322	44,492	32,087	12,405
65歳以上	223,543	28,515	19,624	8,891

※総人口については年齢不詳を加えている

区分	島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
15歳未満	12.6%	11.4%	11.4%	11.4%
15～64歳	54.5%	53.8%	54.8%	51.5%
65歳以上	32.3%	34.5%	33.5%	36.9%

※人口割合について分母となる総数は年齢不詳を加えている

◇浜田圏域の人口動態

◇人口動態の推移

		出生数	(再掲)	死亡数	(再掲)		自然増加数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数
			2,500g未満		乳児(1歳未満)死亡数	新生児(生後28日未満)死亡数		総数	自然死産	人口死産	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡		
島根県	H23年	5,582	602	9,412	11	5	-3,830	136	51	85	13	9	4	3,058	1,043
	H24年	5,585	584	9,513	11	6	-3,928	138	57	81	19	14	5	3,114	1,014
	H25年	5,534	537	9,572	13	6	-4,038	131	54	77	20	16	4	2,992	1,045
	H26年	5,359	579	9,369	13	3	-4,010	124	65	59	17	17	-	3,023	966
	H27年	5,551	577	9,604	8	6	-4,053	107	41	66	13	9	4	2,931	1,022
浜田圏域	H23年	609	73	1,294	3	1	-685	11	6	5	1	-	1	344	145
	H24年	593	81	1,240	1	1	-647	17	7	10	2	1	1	331	130
	H25年	591	66	1,304	1	-	-713	11	4	7	-	-	-	317	131
	H26年	596	75	1,256	1	-	-660	15	9	6	3	3	-	370	133
	H27年	601	69	1,303	2	1	-702	10	7	3	2	2	-	313	158
浜田市	H23年	449	56	880	2	1	-431	7	4	3	1	-	1	256	91
	H24年	429	62	792	-	-	-363	14	5	9	-	-	-	262	102
	H25年	421	51	900	1	-	-479	9	3	6	-	-	-	225	82
	H26年	421	54	866	1	-	-445	9	6	3	2	2	-	266	96
	H27年	438	55	880	1	1	-442	9	6	3	2	2	-	241	111
江津市	H23年	160	17	414	1	-	-254	4	2	2	-	-	-	82	43
	H24年	164	19	448	1	1	-284	3	2	1	2	1	1	106	48
	H25年	170	15	404	-	-	-234	2	1	1	-	-	-	92	49
	H26年	175	21	390	-	-	-215	6	3	3	1	1	-	104	37
	H27年	163	14	423	1	-	-260	1	1	-	-	-	-	72	47